



# 清瀬市身近な公共施設の再編に関するアンケート調査結果報告書

報告書

2020年3月

# 目次

1. アンケート実施概要	2
<hr/>	
2. アンケート結果要旨	
<hr/>	
2-1. 合意形成手続きへの市民意見	4
<hr/>	
2-2. 合意形成内容への市民意見	9
<hr/>	
2-3. 施設利用状況	14
<hr/>	
2-4. 主な施設の利用者アンケート結果	18
<hr/>	
3. 具体的なアンケート結果	
<hr/>	
3-1. 回答者の属性	24
<hr/>	
3-2. 合意形成手続きへの市民意見	31
<hr/>	
3-3. 合意形成内容への市民意見	43
<hr/>	
3-4. 施設利用状況	58
<hr/>	
3-5. 主な施設の利用者アンケート結果	65
<hr/>	
(参考). アンケート用紙	71
<hr/>	

# 1. アンケート実施概要

## 市民向けに郵送でアンケート用紙を配布する方法と、利用者向けに公共施設にアンケート用紙を設置する方法の2種類のアンケートを実施した

### アンケート調査概要

	身近な公共施設の再編に関する 市民ニーズ調査 (以下「市民アンケート」という。)	清瀬市 地域レベルの公共施設に 関する利用者アンケート (以下「利用者アンケート」という。)
対象者	清瀬市内在住の18歳以上の方	清瀬市内の公共施設の利用者
対象数	2,000人	—(制限なし)
回収数・率	829人(41.5%)	1,829件(—%)
抽出方法	無作為抽出	—(抽出せず)
調査方法	配付は郵送方式。回答収集は、郵送または電子申請方式	公共施設にて、利用者に配布し、回収ボックスにて回収
調査期間	令和元年9月13日～10月7日	令和元年8月10日頃～9月30日※

※ 一部施設で期間を追加してアンケートを行っている

## **2. アンケート結果要旨**

### **2-1. 合意形成手続きへの市民意見**

# 合意形成手続きに関する3案のうち、専門家による委員会や広報・HPでの意見募集よりも、住民説明会を開催する手法を希望する市民が、比較的多かった

## (1). 合意形成手法

### 合意形成手法

### 具体的なアンケート結果

#### アンケート結果

- 合意形成手法は、「住民説明会を開催」することを希望する市民が、比較的多かった

#### 市民:全体集計

- 市民アンケートの「公共施設の再編案の検討手法」では、「住民意見を取り入れて市が作成した案を、地域ごとの意見交換会で住民に直接提案し、意見を募り案に反映する方法(以下、住民説明会を開催)」が34.4%で最多であった(ただし、「広報・HPで意見募集」が29.3%、「有識者の検討委員会」が28.3%と僅差)
- その他の意見では、複数対応を取り入れた案の提案や、ネット等で住民意見を取り入れてほしいとの要望があった
- ※ 住民中心で案を作成する意見は2件だけあった

#### クロス集計結果

- 説明会に参加できる・参加意思のある人は「住民説明会を開催」を希望する人が多い

#### 市民:参加希望×合意形成手法

- 回答者を説明会出席希望者に限定すると、「住民説明会を開催」が過半数を占める(50.8%)。

#### クロス集計結果

- 50代以下の人では、「広報・HPで意見募集」でも十分と考える人が最多となっている

#### 市民:年齢×合意形成手法

- 回答者を50代以下の人に限定すると、「広報・HPで意見募集」を希望する割合が最多となる
- ※ 年代別では20代、40～50代で、「広報・HPで意見募集」が最多

# 説明会へ出席希望は全体の約3割であり、特に「30～40代(対象①)」と「公共施設の利用が多い人(対象②)」「上清戸・下清戸・梅園地域(対象③)」の参加希望がそれぞれ高い

## (2). 説明会への参加希望

説明会への参加希望

具体的なアンケート結果

### アンケート結果

- 説明会を開催する場合の参加希望は、全体の約3割であった

### 市民: 全体集計

- 全体: 説明会を開催する場合の参加希望は、参加希望が計32.6%(ぜひ参加したい7.5%、少し参加したい25.1%)であった
- 期待度との関係では、期待度が高いほど説明会への出席意思が高く、期待度5が計48.3%(同13.8%、34.5%)と高くなっている

### クロス集計結果

- 「30～40代」の参加希望割合が高い

対象①

### 市民: 年齢層×参加意思

- 年代別では、40代は他の世代に比べて出席を希望する割合が高く(39.0%)、次いで、30代が高くなっている(35.0%)。
- 一方、小中学校や公共施設との関わりが少ない10代・20代の出席希望が低い(10代:17.6%、20代:26.3%)

### クロス集計結果

- 「公共施設の利用が比較的多い人」の参加希望割合が高い

対象②

### 市民: 施設利用度×参加意思

- 公共施設の利用状況との関係は、公共施設の利用が多い人(年間に3施設以上利用or1施設を月1以上利用)の参加希望が高く(43.2%)、全く利用していない人の出席率が低い(21.3%)

### クロス集計結果

- 「上清戸・下清戸・梅園地域の人」の参加希望割合が高い

対象③

### 市民: 地域×参加意思

- 地域別にみると、出席希望系が高いのは、「上清戸(44.7%)」「下清戸(43.1%)」「梅園(41.0%)」である
- 一方、「下宿(21.6%)」「元町(27.5%)」「中里(27.8%)」では出席希望が低い

# 説明会への出席は、土曜日の午前10～12時、次いで、平日の午後13時～16時が人が集まりやすい

## (3). 手続き 説明会への参加日時

### 説明会への参加日時

### 具体的なアンケート結果

#### アンケート結果

- 参加可能曜日・時間から、説明会の開催は、土曜日の午前10～12時に参加の可能性が高い
- 日曜のみ参加可能な人が少なく、平日と土曜日でそれぞれ開催することが効果的である

#### クロス集計結果

- 参加希望の多い、「30～40代」が一番参加しやすいのは、土曜日の午前10～12時である(次いで日曜の午前10～12時が参加しやすい)
- 一方、60代以上では、平日午後13～16時で参加の可能性が高い

対象①

#### クロス集計結果

- 地域別では、南部では土曜午前、中部では日曜午前と土曜日午後、北部では平日午前の出席率がそれぞれ最も高い

対象③

#### 市民:全体集計

- 参加希望者のうち、参加できる曜日は、土曜日58.1%、平日50.4%、日曜・祝日49.3%であった
- 時間帯では、午前10～12時と13～15時に参加可能な人が多い
- 参加可能な曜日の組み合わせは、平日のみ参加可能が25.9%、土日のみ参加可能が21.9%、どの曜日も可能17.4%、土曜日のみ参加可能が12.6%などである

#### 市民:年齢×参加日時

- 50代以下の現役世代では、参加可能性が曜日では土曜>日曜祝日>平日、時間では午前>午後>夜の順で高い
- 同じく、60代以上では、平日>土曜>日曜祝日、午後>午前>夜の順で参加可能性が高い
- 特に、30～40代では、土曜日の午前10～12時が、参加可能者が多く、参加率も約60%と一番高い(次いで、日曜午前も参加率が高い)。
- 平日夜間を参加可能とした人の割合は、勤労世代とそれ以外も共に低かった

#### 市民:地域×参加日時

- 出席率が最も高い曜日・時間帯は、
  - ✓ 北部:平日(出席可能率63.5%)、午前10～12時(同45.5%)
  - ✓ 中部:土曜日(同60.2%)、午後13～15時(同50.9～54.7%)ただし、日曜(同51.1%)の午前10～12時も高い(同64.4%)
  - ✓ 南部:土曜日(59.2%)の午前10～12時(同49.4～51.9%)

# 説明会の周知は、広報を中心に行い、追加で20代～40代向けには市のHP、50代以上や公共施設利用者向けには市のポスター・チラシを用いることが効果的である

## (4).手続き 説明会の周知方法

### 説明会の周知方法

### 具体的なアンケート結果

#### アンケート結果

- 全体的に、市政情報はほとんどが「広報」から取得しており、次いで「市のポスター・チラシ」「市のHP」から取得している

#### クロス集計結果

- 参加希望の多い、「30～40代」は広報が最多で、次いでHPから市政情報を入手していた

対象①

#### クロス集計結果

- 「公共施設の利用が多い人」は、情報を得ている媒体の種類・順位は全体と同じだが、全体的に市政情報を入手している割合が高く、情報が届きやすい

対象②

#### クロス集計結果

- 情報を得ている媒体は、地域による差が少なく、どこも「広報」からの取得が大半であった

対象③

#### 市民：全体集計

- 「市政情報などを得る媒体」では、「広報」が最も高く、市民アンケートで77.0%、利用者アンケート(市内在住者)で76.6%となっている
- 次いで「市のポスター・チラシ」、「市のHP」が多くなっている

#### 市民：年齢×周知手段

- 年齢層別にみると、30～40代では、「広報」が最多で、「市のHP」が2番目に高くなっている
- 一方、市HPから情報を得る人は、年代が上がるにつれて下がり、代わりに、「市のポスター・チラシ」や「口コミ」が増えている

#### 市民：施設利用度×周知手段

- 公共施設の利用度合いでは、公共施設を「まったく利用しない人(広報:68.1%、未入手13.4%)」よりも「良く利用する人(広報:83.0%、未入手3.3%)」の方が、全般的な市政情報の入手割合が高く、「情報を得ていない」が少なかった

#### 市民：地域×周知手段

- どの地域も最も情報を得る媒体は「広報」であり、概ね約7割～9割近い人が後方で情報を入手している

## **2. アンケート結果要旨**

### **2-2. 合意形成内容への市民意見**

# 地域拠点施設は、市民・利用者ともに総論賛成だが、「10～20代(対象④)」「野塩・梅園地区(対象⑤)」「公共施設を利用しない人(対象⑥)」などで期待しない人が多い

## (1). 地域拠点施設化への期待

### 地域拠点施設化への期待

### 具体的なアンケート結果

#### アンケート結果

- 地域拠点施設化に、全体の半数近い人が期待しており、期待していない人が少ないため、総論としては賛成していると言える

#### クロス集計結果

- 他の年代に比べて、「30～40代」で期待度が高い人の割合が高く、「10～20代」では、期待度が低い人の割合が高い

対象④

#### クロス集計結果

- 「南部地区の野塩・梅園地区の方」では、他地域と比べ期待度が低い人の割合が高い

対象⑤

#### クロス集計結果

- 「公共施設を利用しない人」、利用者のうち「施設の満足度が低い人」は、利用する人・満足度の高い人より期待度が低い人の割合が高い

対象⑥

#### 市民・利用者:全体集計

- 地域拠点施設への期待度は、市民の約半数(47.6%)が高い期待(期待度4・5)を寄せており、期待度が低い(期待度1・2)人(15.9%)を大きく上回る
- 利用者は、半数近く(41.7%)が期待を寄せている(※無回答が21.8%と多く、回答者で見ると半数を超える)

#### 市民:年齢×期待度

- 年代別は、30～40代で期待度が高い人が多い(55.0%、51.3%)
- 10～20代では、期待度が高い人は平均的だが、期待度が低い人が10代が25.0%、20代が20.0%と多い

#### 市民:地域×期待度

- 「梅園(30.8%)」「野塩(19.0%)」の期待度が低い人が多く、結果として南部地域が期待度が低い人が最も多い(17.1%)

#### 市民:施設利用度×期待度、利用者:満足度×期待度

- 公共施設をよく利用する人の方は、期待度が高い人が52.4%で、利用しない人の42.6%よりも期待度が高い
- 現在利用する公共施設への満足度が低い人(満足度1・2)は、比較的、期待度が高いを選択した人が少なく(32%)、期待度が低いを選択した人が多い(23%)傾向にある

# 市民は30代を中心に「不特定多数の人によるトラブル発生」等の不安が多くなっている

## (2). 地域拠点施設化への不安

### 地域拠点施設化の不安点

### 具体的なアンケート結果

#### アンケート結果

- 市民の地域拠点施設への不安は、「不特定多数の人によるトラブル発生」が最多となっている

#### クロス集計結果

- 拠点施設化に期待しない人は、不安点が多く、期待点が少ない。特に期待点の選択が少なく、メリットを伝えきれていないと考えられる

#### クロス集計結果

- 30代は、トラブルや怪我・事故など、問題発生をより懸念している 対象④

#### クロス集計結果

- 特に、「梅園」の人では、地域拠点施設に対する不安点が他地域よりも多くなっている 対象⑤

#### 市民: 全体集計

- 市民の地域拠点施設への不安で多いのは、「不特定多数の人によるトラブル発生」が57.5%と多くなっている
- 次いで、「建てた施設が活用されない」が33.7%であり、この2点が地域拠点施設への反対として多く出されると考えられる

#### 市民: 期待度低×期待点・不安点

- 期待度の低い人は、「不特定多数の人によるトラブル発生」が57.6%と、全体と同水準だが、次いで、「建てた施設が活用されない」が37.9%、「子供と高齢者等が関係する怪我や事故の発生」が31.1%と多い
- 不安点の選択数が2.28個で、全体の1.97個より多い。また、期待点の選択数の平均が1.71個で、全体の約2.34個より少ない

#### 市民: 年齢×期待度

- 30代の若者世代は、特に「不特定多数の人によるトラブル発生」が72.5%で多く、次いで「子供と高齢者等が関係する怪我や事故の発生」が41.3%と高い

#### 市民: 地域別×不安点

- 地域別で、「梅園」の人が不安点の選択数が2.13個と多い

# 利用者は不安点が少なく、「不特定多数の人によるトラブル発生」「予約がしづらい・混雑する」を主に不安に思うが、「公共施設が遠くなる」ことの不安は比較的少ない

## (3). 地域拠点施設化への不安

### 地域拠点施設化の不安点

### 具体的なアンケート結果

#### アンケート結果

- 利用者の不安点で多いのは、市民と同様の「不特定多数の人によるトラブル発生」と「予約がしづらい・混雑する」であるが、いずれも約2割と、市民アンケートと比較して低い

#### アンケート結果

- 「公共施設が遠くなる」は不安点で3番目に高いが、割合は比較的low、今公共施設が近い人も遠くなることをそれほど不安に思っていない

#### クロス集計結果

- 市民同様、10～30代の若者世代は、トラブルや怪我・事故などの問題発生を多世代よりも懸念している **対象④**

#### クロス集計結果

- 南部にある施設や「梅園」地域では、「予約がしづらい・混雑する」が多い **対象⑤**

#### 利用者：全体集計

- 利用者アンケートの不安要素は、市内在住者に限定すると、「不特定多数の人によるトラブル発生」が最多だが24.8%と低く、次いで「予約がしづらい・混雑する」が21.8%である

#### 利用者：不安点×距離×属性

- 懸念された「公共施設が遠くなる」は、12.1%で3番目に高い
- 回答者を公共施設まで5分以内の利用者に限定すると、14.1%と高くなるが、意見として多くはない
- また、市民アンケートで「公共施設の利用が多い」人は、「公共施設が遠くなる(17.3%)」が高くなるが、意見として多くはない

#### 利用者：不安点×年齢

- 「不特定多数の人によるトラブル発生」は、利用者アンケートでも若い世代で高く(10代:39.6%、20代:42.9%、30代:54.5%)、年齢が上になるほど低くなる(60代:25.2%、70代以上13.9%)

#### 利用者：地域別×不安点

- 地域別で、「梅園」の人が「予約がしづらい・混雑する」「公共施設が遠くなる」の不安が全体より10%以上高い
- また、南部のうち野塩・松山地域市民センターでは、「予約がしづらい・混雑する」を不安に思う人が全体よりも多い

# 若手世代は「放課後の子どもの居場所の確保」、高齢者層は「地域コミュニティの活性化」をそれぞれ期待することとして多く挙げている

## (4).地域拠点施設化への期待

### 地域拠点施設化への期待

### 具体的なアンケート結果

#### 全体的なアンケート結果

- 地域拠点施設に期待することは、市民が「放課後の子どもの居場所」が最多、利用者が「地域コミュニティの活性化」が最多と異なる

#### クロス集計結果

- 市民・利用者に共通して、20～30代は「放課後の子どもの居場所」への期待が高い **対象④**

#### クロス集計結果

- 利用者アンケートの回答者は、40代以上が多いが、特に50代以上の層は「地域コミュニティの活性化」を多く期待している **対象⑥**

#### クロス集計結果

- 市民・利用者共に、10代は「新たな施設機能」を期待する人が多く、どの年代も「体を動かせる場所」「休憩・おしゃべりできる場所」が多い **対象④**

#### 市民：全体集計

- 市民では、「放課後の子どもの居場所」が44.3%で最多で、次いで、「新たな施設機能の設置」が32.0%と高い
- 利用者は「地域コミュニティの活性化」が26.9%と最も高い

#### 市民・利用者：年齢×子供の居場所

- 市民では、「放課後の子どもの居場所」を期待する人は、30代が66.3%、20代が56.3%と際立って高い。
- 利用者でも「放課後の子どもの居場所」は、30代の49.1%を初め、20代～40代で最も高くなっている

#### 市民・利用者：年齢×地域コミュニティ

- 利用者で最大の「地域コミュニティの活性化」は、50代：36.2%、60代：37.6%、70代以上：27.2%と最も高い
- 市民では「地域コミュニティの活性化」は、60代が35.8%、70代以上が30.1%と高く、若者は10代17.6%、20代17.5%と低い

#### 市民：年齢×新たな機能

- 市民では「新たな施設機能の設置」は10代で45.6%と最も高くなっており、20～40代で4割弱、50～60代で3割弱、70代以上で2割程度と、年齢が上がるごとに選択割合が低くなっている
- また、新設を希望する施設機能として、ほとんどの年代の人が、「体を動かせる場所」を最も多く選択している

## **2. アンケート結果要旨**

### **2-3. 施設利用状況**

# 利用者の公共施設への評価は、満足度が高く不満が少ないが、満足度が高い理由として、徒歩や自転車で通える・家から10分以内が多いなど、近いことが挙げられる

## (1). 各施設の満足度・利用手段など

### 公共施設の利用状況

#### 満足度

- 「公共施設への満足度」で満足が57.4%と高く、不満が6.3%と少ない
- 特に、「元町子ども図書館」「中里地域市民センター」「野塩図書館」で満足が高い

#### 良い点・所要時間

- 施設の良い点として、家からの近さを挙げる利用者が、50.7%で一番多い
- 公共施設への所要時間は、市内在住者に限ると「10分以内」が63.0%と半数以上である
- 一方で、高齢者でも時間をかけて公共施設に通っている人も多い

#### 交通手段

- 交通手段も「徒歩」が33.5%で最も多く、近所の施設をよく利用する状況にあると推測される

### 詳細分析

#### 利用者：施設×満足度

- 施設別で満足度が高いのは「元町子ども図書館：79.0%」、「中里地域市民センター：76.9%」、「野塩図書館：72.6%」である
- 一方、「野塩地域市民センター：48.0%」、「中里老人いこいの家：42.9%」で満足度が低くなっている

#### 利用者：施設×所要時間

- 所要時間は、市内在住者に限ると、「10分以内」が63.0%、「30分以内」が91.4%と、ほとんどが30分以内である
- 「10分以内」の割合が高い近辺のみの利用である施設は、「野塩図書館：83.3%」、「下宿図書館：81.8%」と図書館が多い
- 地域市民センターでは、「竹丘地域市民センター」が53.9%で最も高く、駅から近い「松山市民センター」が37.3%で低い
- 年齢別では、70代以上の方でも10分以上かけて公共施設を利用する人が半数近く(44.5%)を占める

#### 利用者：年齢×移動手段

- 年齢別では、70代以上の方で徒歩が最も多く、40.5%が徒歩で利用しており、次いで自転車が26.1%となっている。また、シルバーパスの影響で、バスが16.2%と他年代よりも高い(離れた施設へも自転車やバスと徒歩で利用可能と考えられる)
- それ以外では、50代を除き自転車が最多となっている

# 公共施設の利用は、一部施設で、近隣からの利用が多く、利用頻度が高い人が多い ため、利用者の固定化の懸念がある

## (2). 各施設の利用者所在・利用頻度など

### 公共施設の利用状況

### 詳細分析

#### 利用者の所在

- 公共施設は立地する各地域の利用が最も多く、「野塩老人いこいの家」「中里老人いこいの家」では、立地地域の人利用が半数以上を占める
- 地域市民センターでは市外からも多く利用されており、それが最多となる施設もある

#### 利用者：施設×利用者所在

- 立地地域からの利用割合は、「野塩老人いこいの家」の76.4%が高く、次いで「中里老人いこいの家」が65.3%である
- 一方、「中里地域市民センター」で36.4%、「松山地域市民センター」で29.2%、「野塩地域市民センター」で29.0%と、市外の人利用が最多となっている

#### 稼働率

- 施設稼働は、曜日別には休館の多い月曜の稼働が低いですが、他の曜日は偏りなく利用されている
- 時間帯別では、午前中の稼働が高い

#### 利用者：施設、年齢×稼働日時

- 曜日別の稼働率は、金曜日が17.9%、水曜日が17.4%、土曜日が15.4%の順で高くなっている
- 月曜日のみ1.6%と低いが、地域市民センター・図書館は休館日がいずれも月曜日であることが要因と考えられる
- 稼働時間帯は、10～12時に利用した人が平均31.6%で最多であり、続いて13～16時までが平均21.7%で、夜はさらに少ない
- 図書館は開館時間が短く、時間帯による繁閑の差が少ない

#### 利用頻度

- 利用頻度は、週1以上利用が54.3%と半数以上を占め、特に高齢世代で利用頻度が高い人が多い

#### 利用者：年齢×利用頻度

- 週に複数回の利用が18.4%、週1の利用が35.9%と、計54.3%の人が週1以上公共施設を利用している
- 特に70代以上では、週に複数回の利用が22.3%、週1の利用が40.5%で、62.8%の人が定期的に公共施設を利用している
- 児童館も定期利用が高く、10代も利用頻度が高い人が多い

公共施設のよい点は、「家から近い」と「職員の対応」を挙げる人が多く、良くない点は「駐車場・駐輪場がない/狭い」が多いが、良くない点を選ぶ人が全体的に少ない

### (3). 各施設のよい点・良くない点

#### 公共施設の利用状況

#### アンケート結果詳細

##### 良い点

- 公共施設のよい点は、「家から近い」「職員の対応」がそれぞれ50%前後が多い
- 「職員の対応」が良いのは、施設別では図書館で多く選ばれている

##### 利用者：施設×良い点

- 公共施設のよい点は、「家から近い」が50.7%で最多で「職員の対応がよい」が49.0%と、それぞれ高くなっている
- 続いて、「設備の使い勝手が良い」が28.9%、「利用料が安い・無料」が24.8%となっている
- 「職員の対応がよい」は、「野塩図書館」が73.8%で最多で、次いで「元町子ども図書館」が58.1%で高い

##### 良くない点

- 良くない点は、「駐車場・駐輪場がない/狭い」の18.0%が最多で、全体的に良くない点が少ない

##### 利用者：施設×良くない点

- 公共施設への良くない点は、「駐車場・駐輪場がない/狭い」が18.0%で最も高く、次いで「利用料が高い」が9.0%であり、全体的に低くなっている
- 駐車場・駐輪場への不満は、「中清戸地域市民センター」が39.6%で特に高く、次いで「元町子ども図書館」が24.2%となっている
- 良くない点の平均選択数は、0.66個、無回答の割合が50.0%と、良くない点を選ぶ人が少なくなっている

## 2. アンケート結果要旨

### 2-4. 主な施設※の利用者アンケート結果

※利用者アンケートの回答数が100件以上の施設を対象としています。

## 竹丘地域市民センターは、市外を含めた幅広い地域から、多くの利用者が多様な目的で訪れており、利用者の地域拠点施設への期待が高くなっている

### (1). 竹丘地域市民センター

<p>1</p> <p>施設概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域市民センターとして、利用目的はサークル活動利用が69.6%で最も多いが、子育て(8.6%)やその他(13.9%)もあるため、他市民センターより多様な利用がされている</li> <li>■ 交通手段は自転車(31.9%)と最も多いが、電車が3.3%と少ない</li> </ul>
<p>2</p> <p>施設満足度・ 良い点・良くない点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 満足度が54.7%で、全体(57.4%)と同水準である</li> <li>■ 良い点は、「家から近い(50.6%)」「職員がよい(46.1%)」「設備がよい(32.4%)」の順で、全体の傾向と同様である</li> <li>■ 良くない点は、「駐車場・駐輪場がない/狭い」の選択が多い(15.9%)が、他市民センターより比較的低く、無回答等の人の割合が高い(53.7%)ため、不満点は少ないと考えられる</li> </ul>
<p>3</p> <p>地域拠点施設への反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域拠点施設の期待度は、期待が45.1%と、全体(41.7%)や他市民センター(36.9~42.5%)より高い</li> <li>■ 期待点は「地域コミュニティの活性化」が高い(25.8%)が、他市民センター(32.2~34.9%)より低く、「学校と地域の連携強化」を求める割合が13.7%と比較的高い</li> <li>■ 不安点は「不特定多数の人によるトラブル発生(19.5%)」と「予約がしづらい・混雑する(19.7%)」が高く、全体の傾向(それぞれ21.3%、20.7%)と同様となっている</li> </ul>
<p>4</p> <p>利用者</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 所在地である「竹丘」地域からの利用者が28.4%で最多であるが、東久留米市と近いこともあり、市外の人(27.8%)と同程度利用している。次いで、隣の「松山」地域からの利用者が10.4%と高いが、「梅園」からの利用者は3.3%と低く、その地域の住民の利用が盛んな施設と言える</li> </ul>

## 松山地域市民センターは、駐車場等が充実しており、広範囲から短時間で利用でき、幅広い地域から利用されるが、設備に関する不満が出ている

### (2). 松山地域市民センター

<p>1</p> <p>施設概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 交通手段は徒歩が31.8%と最も多く、バスの利用が多く、自転車の利用が少ない傾向がある</li> <li>■ 所要時間では、「10分以内」の利用者の割合が37.3%と、全体(52.9%)や他市民センター(44.8～53.9%)より低く、広い地域の人々が利用していると考えられる</li> <li>■ 利用頻度でも「週1以上」利用する人の割合も34.4%と、全体(54.2%)や他市民センター(58.0～64.4%)より低くなっている</li> </ul>
<p>2</p> <p>施設満足度・ 良い点・良くない点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 満足度が51.0%で、全体(57.4%)よりも少し低くなっている</li> <li>■ 良い点は、「職員がよい(53.2%)」「家から近い(38.6%)」「利用料が安い・無料(25.6%)」の順で、全体より「家から近い(全体50.7%)」と「設備がよい(全体28.9%に対し19.5%)」が低くなっている</li> <li>■ 良くない点は、「設備が悪い」と「利用料が高い」が共に11.4%で最も高いが、かなり低水準である</li> <li>■ また、全体で高い「駐車場・駐輪場がない／狭い」が全体18.0%に対して8.8%と最も少ないなど、不満点は比較的少ないと考えられる</li> </ul>
<p>3</p> <p>地域拠点施設への反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域拠点施設への期待度では、期待が42.5%と、全体(41.7%)と同水準である</li> <li>■ 期待点は「地域コミュニティの活性化」が33.8%で最多であり、全体(26.9%)より比較的高い</li> <li>■ 不安点で「予約がしづらい・混雑する(25.0%)」が最も高く全体(20.7%)を上回っているが、2番目に高い「不特定多数の人によるトラブル発生(17.2%)」は全体(21.3%)よりも低くなっている</li> </ul>
<p>4</p> <p>利用者</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 清瀬駅から比較的近いこともあり、市外の人々の利用が29.2%で最多となっている。</li> <li>■ 次いで多いのは、所在地である「松山」地域からの利用者であるが13.0%と比較的低く、他に「竹丘」地域が11.4%などと、多くの地域から利用されている</li> </ul>

## 野塩地域市民センターは、駅から近くて交通の便が良く、電車利用が多いが、満足度は比較的低く、利用者の地域拠点施設化に期待することが多い

### (3). 野塩地域市民センター

<p>1</p> <p>施設概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利用目的はサークル活動利用が81.3%で最も多いが、会議(8.3%)の割合も比較的高い</li> <li>■ 交通手段は徒歩が36.1%と最も多く、次いで電車が20.2%と全体(8.0%)より多くなっている</li> <li>■ 所要時間では、「10分以内」の利用者の割合が44.8%と、全体(52.9%)より低く、電車を利用して遠くの人が利用していると考えられる</li> </ul>
<p>2</p> <p>施設満足度・ 良い点・良くない点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 満足度が48.0%で、全体(57.4%)や他の地域市民センターよりも低いことに、留意が必要である</li> <li>■ 良い点は、「職員がよい(55.6%)」「家から近い(51.6%)」「交通の便がよい(41.3%)」の順であり、駅から近いことにより、「交通の便がよい」が全体(20.7%)より高くなっている</li> <li>■ 良くない点は、「駐車場・駐輪場がない／狭い(17.5%)」が最も高く、次いで「利用料が高い(11.9%)」が高いが、全体(各18.0%、9.0%)と同水準である</li> </ul>
<p>3</p> <p>地域拠点施設への反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域拠点施設への期待度では、期待が39.7%と、全体(41.7%)と同水準である</li> <li>■ 期待点は、「地域コミュニティの活性化」が33.3%、次いで「放課後の子供の居場所の確保」が20.2%と高く、全体(各17.3%、12.1%)よりも高くなっている</li> <li>■ 結果として、期待することの選択個数が平均1.50個と全体(1.29個)よりも多くなっている。</li> <li>■ 不安点は「予約がしづらい・混雑する」が27.8%で全体(20.7%)よりも高く、次いで「不特定多数の人によるトラブル発生」が17.9%で高い</li> </ul>
<p>4</p> <p>利用者</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 秋津駅から近いこともあり、市外の人利用が29.0%で最多で、次いで、所在地である「野塩」地域の利用者が27.4%と多くなっている</li> <li>■ その他の地域は、「中里」が9.1%、「梅園」が8.3%などとなっている</li> </ul>

## 中清戸地域市民センターは、設備や環境がよく、立地地域以外を含めて広く利用されているが、駐車場等が狭い、利用料が高いなどの不満もある

### (4). 中清戸地域市民センター

<p>1</p> <p>施設概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利用目的はサークル活動利用が85.9%とほとんどを占めている</li> <li>■ 交通手段は自転車が36.9%と最も多く、次いで徒歩が22.8%、自家用車(自分で運転)が21.5%、バスが20.8%となっている。自転車とバスの利用が全体(各30.1%、10.1%)より多く、徒歩の利用が全体(33.5%)より少ないため、離れた場所から利用する人が多いと考えられる</li> <li>■ 利用頻度は「週1以上」利用する人の割合も64.4%と、全体(54.2%)や他施設より高くなっている</li> </ul>
<p>2</p> <p>施設満足度・良い点・良くない点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 満足度が55.0%で、全体(57.4%)と同水準である</li> <li>■ 良い点は、「職員がよい(53.0%)」「家から近い(44.3%)」「設備の使い勝手がよい(36.9%)」の順であり、「設備の使い勝手がよい」「施設内の環境が良い(30.9%)」が全体(28.9%、23.5%)よりも高く、他施設よりも良い設備であると考えられる</li> <li>■ 良くない点は、「駐車場・駐輪場がない／狭い」が39.6%で最も高く、次いで「利用料が高い」が16.8%と、全体の水準(18.0%、9.0%)よりもかなり高くなっている</li> </ul>
<p>3</p> <p>地域拠点施設への反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域拠点施設への期待度が高い割合が36.9%と全体(41.7%)より低い、期待度が低い割合も3.4%で全体(8.3%)より低く、中間の3の選択が38.3%と多くなっている(全体28.2%)</li> <li>■ 期待点は全体と同様に、「地域コミュニティの活性化(34.9%)」が最も高く、次いで「放課後の子供の居場所の確保(15.4%)」となり、特に「地域コミュニティの活性化」が全体(26.9%)よりも高い</li> <li>■ 不安点は「予約がしづらい・混雑する」が20.1%、「不特定多数の人によるトラブル発生」が14.8%と高いが、無回答が53.0%と高く、選択数が(0.70個)で他施設(0.93個)よりも少ない</li> </ul>
<p>4</p> <p>利用者</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「中里」の利用が19.5%で最多で、次いで、「市外」が12.8%、「下清戸」が12.1%と多様となっているが、所在地である「中清戸」地域の利用者は4番目に多い11.4%にとどまっている</li> </ul>

## 中里地域市民センターは、設備や環境がよく満足度が高い施設であるため、市外からの利用、車での移動などが多く、地域拠点施設への期待点・不安点が少ない

### (5). 中里地域市民センター

1

#### 施設概要

- 利用目的はサークル活動利用が88.8%とほとんどを占めている
- 交通手段は自家用車(自分で運転)が28.7%と最も多く(送迎も11.2%)、次いで徒歩が25.2%、自転車が18.2%となっている。他施設よりも自家用車の利用割合が計39.9%で、全体の計24.7%よりかなり高く、徒歩と自転車の利用が少ないため、交通の便が悪いと考えられる
- そのため、所要時間では、「30分超」の利用者が19.6%と、全体(7.9%)より多くなっている

2

#### 施設満足度・ 良い点・良くない点

- 満足度が76.9%で、全体(57.4%)や他の市民センター(48.0~55.0%)よりもかなり高くなっている
- 良い点は、「職員がよい(54.5%)」「設備の使い勝手がよい(51.0%)」「家から近い(43.4%)」の順であり、特に「設備の使い勝手がよい」「施設内の環境が良い(39.2%)」が全体(各28.9%、23.5%)よりもかなり高く、他施設よりも良い設備であると考えられる
- 良くない点は、「駐車場・駐輪場がない／狭い(20.3%)」が最も高いのは全体と同様だが、次いで「利用料が高い(15.4%)」と「交通の便が悪い(11.2%)」が高く、全体(各9.0%、6.3%)よりも高い

3

#### 地域拠点施設への反応

- 地域拠点施設への期待度では、期待が39.2%と、全体(41.7%)と同水準である
- 期待点は「地域コミュニティの活性化」が32.2%で最も高く、次いで「年齢層の違う地域住民との交流促進」が12.6%であると。また、「放課後の子供の居場所の確保(9.1%)」と「新たな施設機能の設置(7.0%)」が全体(各17.3%、12.0%)よりも低く、選択数が(1.00個)で他施設(1.29個)よりも少ない
- 不安点は「予約がしづらい・混雑する」が20.3%、「不特定多数の人によるトラブル発生」が16.1%と高いが、無回答が58.7%と高く、選択数が(0.70個)で他施設(0.93個)よりも少ない

4

#### 利用者

- 所沢市から近く、市外の人利用が36.4%で最多で、調査対象施設の中で最も高くなっている
- 次いで、所在地である「中里」地域の利用者が25.2%、「野塩」地域が6.3%、「竹丘」地域が5.6%などとなっている

## **3. 具体的なアンケート結果**

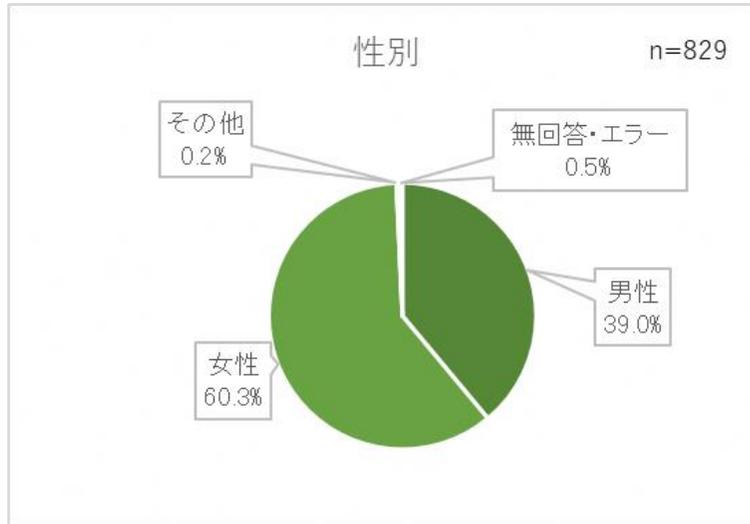
### **3-1. 回答者の属性**

## 市民アンケートの回答者は、性別では女性が約60%で多くなっており、年齢別では60代と70代以上の高齢者層の回答が多いが、若者世代の回答も一定数あった

### (1). 回答者の性別・年齢 市民アンケート

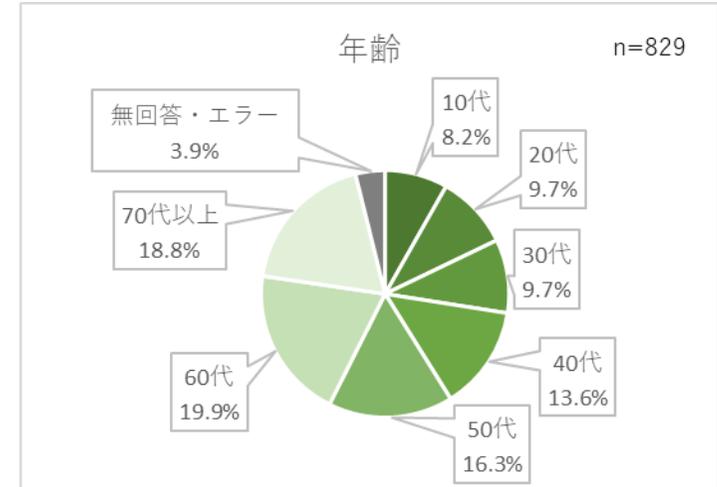
#### 回答市民の性別

- 市民アンケートの回答者の性別は、女性が60.3%、男性が39.0%で、女性の方が多かった
- 清瀬市住民の実際の男女比は48:52であり、回答者は女性の方が高い傾向にある



#### 回答市民の年齢

- 市民アンケートの回答者の年齢は、60代が19.9%(165件)で最多であり、次いで70代以上が18.8%(156件)となっている
- 若者世代の回答数が比較的少なく、10代が8.2%(68件)で最も少なく、次いで20代と30代が共に9.7%(80件)となっており、どの年代も一定数の回答を得ている



## 市民アンケートの回答者の居住地は、中里地域、竹丘地域などの人口の多い地域の回答者が多く、人口の少ない下宿地域、上清戸地域の回答者が少ない

### (2). 回答者の居住地 市民アンケート

#### 回答市民の居住地

- 市民アンケートの回答者の居住地は、元々の地域の人口が多い地域からの回答が多く、中里が16.9%(140件)で最多であり、次いで竹丘が13.8%(114件)となっている
- 回答者数が少ない地域は、地域の人口の少ない地域となっており、下宿が4.5%(37件)で最も少なく、次いで上清戸が4.6%(38件)、梅園が4.7%(39件)となっている
- 無回答等を除いた回答者の地域構成を、清瀬市民の実際の地域構成と比較すると、おおむね一致している



	アンケート		実際	差
	結果	無回答等除く		
上清戸	4.6%	4.6%	4.6%	0.0%
元町	8.3%	8.4%	8.6%	-0.2%
中清戸	12.7%	12.8%	11.5%	1.3%
下清戸	7.0%	7.1%	5.9%	1.2%
下宿	4.5%	4.5%	4.9%	-0.4%
旭が丘	6.4%	6.4%	7.9%	-1.5%
中里	16.9%	17.0%	17.0%	0.0%
野塩	10.1%	10.2%	11.2%	-1.0%
松山	10.3%	10.3%	10.2%	0.1%
竹丘	13.8%	13.9%	13.9%	0.0%
梅園	4.7%	4.7%	4.6%	0.1%
不明	0.8%			

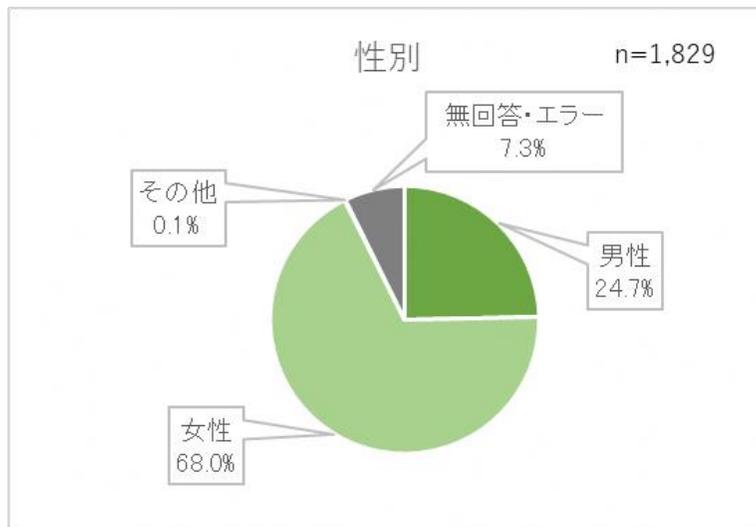
出典:清瀬市HP:「月別 地域・年齢別人口一覧」  
2019年8月1日時点

利用者アンケートの回答者は、性別では女性が約68%で多くなっており、年齢別では60代と70代以上の高齢者層の回答が大半を占め、若者世代の回答数が少なくなっている

### (3). 回答者の性別・年齢 利用者アンケート

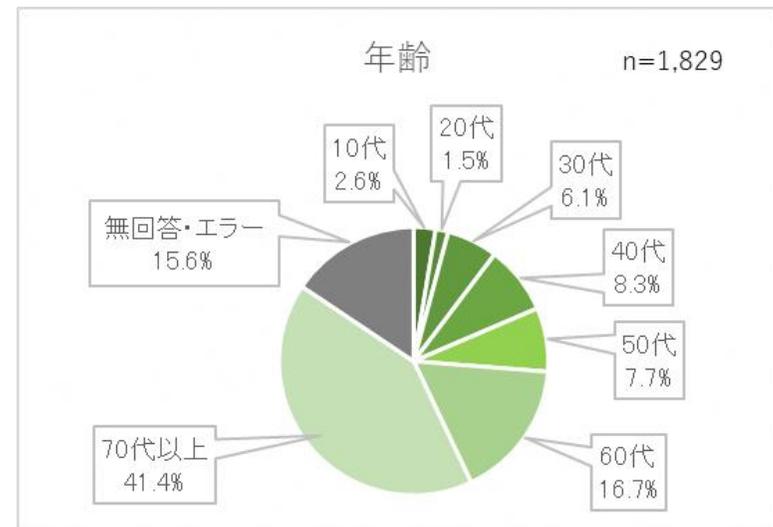
#### 回答利用者の性別

- 利用者アンケートの回答者の性別は、女性が68.0%、男性が24.7%で、女性の方がかなり多くなっている



#### 回答利用者の年齢

- 利用者アンケートの回答者の年齢は、70代以上が41.4% (758件) で最多であり、無回答・エラーを除く、半分程度を占めている。
- 次いで60代が16.7% (306件) で、高齢者層の回答がかなり多く、これが公共施設の利用者の年齢層と考えられる
- 若者世代の回答数がかなり少なく、20代が1.5% (28件) で最も少なく、次いで10代以下が2.6% (48件) となっており、この層の公共施設の利用がかなり少ないと考えられる



利用者アンケートの回答施設は、竹丘地域市民センターにおける395件など、各地域市民センターでの回答が多く、全体として1,829件と多数の回答を得ることができた

#### (4). 回答施設 利用者アンケート

##### 回答施設

- 利用者アンケートで回答者が利用した(アンケートを回答した)施設は、竹丘地域市民センター395件で最多で、次いで、松山市民センターからの回答が多くなっている
- 一般的に、管理人の居る地域市民センターでの回答者が多く、それぞれ100件を超える回答が多いが、下宿地域市民センターの回答が少ない
- 一方で、老人いこいの家は、アンケートの配布方法が異なることもあり、一般的に回答者数が少なく、回答者数が上清戸老人いこいの家で3件、旭が丘老人いこいの家で4件などとなっている



利用者アンケートの回答者の居住地は、所沢市や東久留米市を中心とする市外の人が23%で多く、次いで、中里地域、野塩地域の回答者が多く、下宿地域、上清戸地域の回答者が少ない

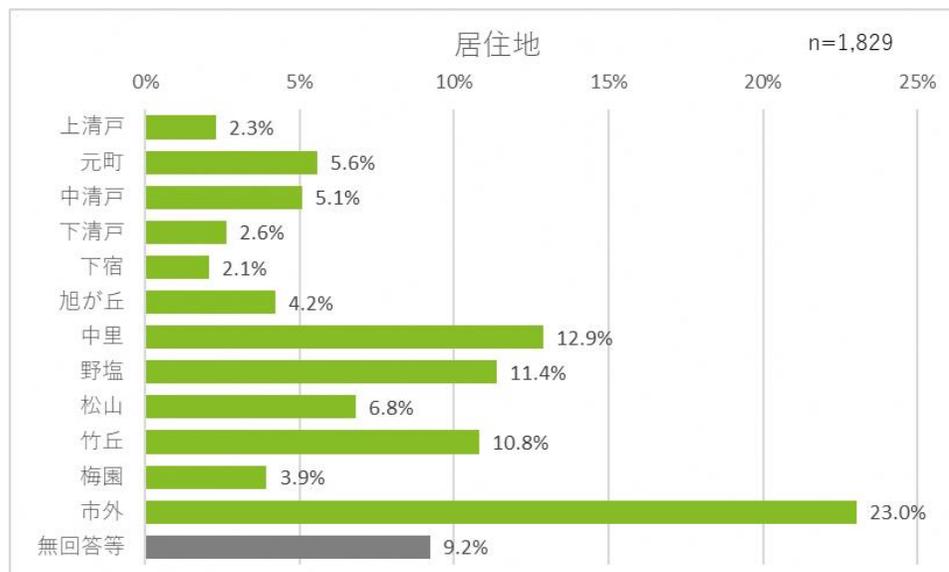
(5). 居住地 利用者アンケート

回答利用者の居住地

- 利用者アンケートの回答者の居住地は、市外が23.0%(421件)最多で、広域での施設利用となっていた
- 次いで、元々の地域の人口が多い地域からの回答が多く、中里が12.9%(236件)、野塩が11.4%(208件)となっている
- 回答者数が少ない地域は、下宿が2.1%(38件)で最も少なく、次いで上清戸が2.3%(42件)でとなっている

- 市外と無回答等を除いた回答者の地域構成を、清瀬市民の実際の地域構成と比較すると、中清戸・下清戸地域で実際の構成より回答者が少なく、野塩・中里地域で回答者が多くなっている

(参考)実際の居住地の構成比との比較



	アンケート		実際	差
	結果	市外・無回答等除く		
上清戸	2.3%	3.4%	4.6%	-1.2%
元町	5.6%	8.2%	8.6%	-0.4%
中清戸	5.1%	7.5%	11.5%	-4.0%
下清戸	2.6%	3.9%	5.9%	-2.0%
下宿	2.1%	3.1%	4.9%	-1.8%
旭が丘	4.2%	6.2%	7.9%	-1.7%
中里	12.9%	19.0%	17.0%	2.0%
野塩	11.4%	16.8%	11.2%	5.6%
松山	6.8%	10.1%	10.2%	-0.1%
竹丘	10.8%	16.0%	13.9%	2.1%
梅園	3.9%	5.8%	4.6%	1.2%
市外	23.0%			
不明	9.2%			

出典:清瀬市HP:「月別 地域・年齢別人口一覧」  
2019年8月1日時点

## 利用者アンケートに回答した市外の方は、所沢市、東久留米市からの利用者が多くなっている

### (6).他団体から利用者 利用者アンケート

#### 他団体から利用者

- 他自治体からの利用者は、全体で421人であり、その構成は所沢市(27.3%)、東久留米市(21.6%)からの利用者が多くなっている

地区分類	回答件数	割合
所沢市	115	27.3%
東久留米市	91	21.6%
東村山市	53	12.6%
新座市	46	10.9%
西東京市	11	2.6%
小平市	9	2.1%
練馬区	9	2.1%
その他多摩地区	18	4.3%
その他東京23区	7	1.7%
その他埼玉県	20	4.8%
その他県	9	2.1%
エラー・無回答	33	7.8%
総計	421	100.0%

### **3. 具体的なアンケート結果**

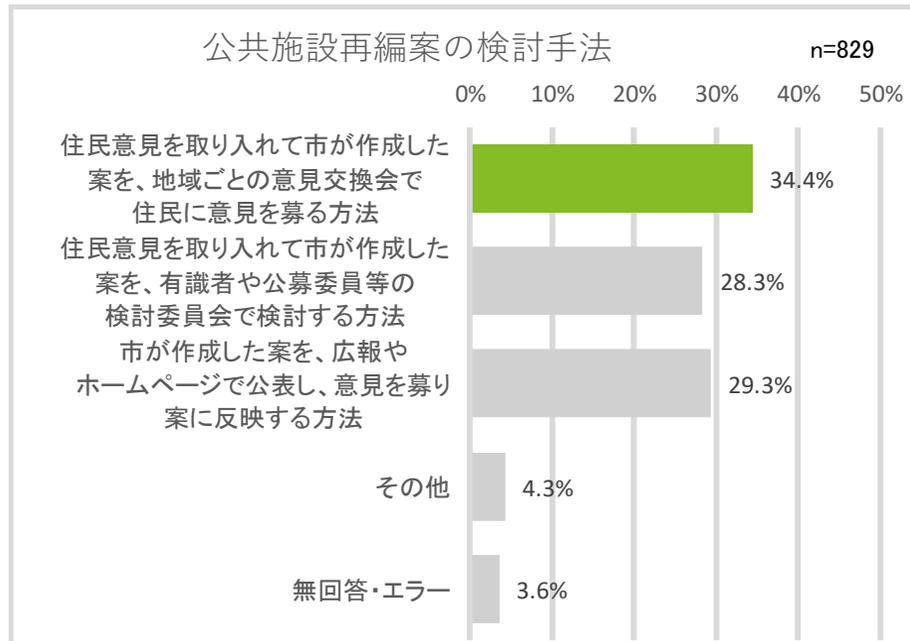
#### **3-2. 合意形成手続きへの市民意見**

## 僅差だが、合意形成方法として「住民説明会開催」を希望する市民が最も多く、特に説明会の参加希望者では、半数以上が説明会開催を望んでいる

### (1). 合意形成手法 市民アンケート

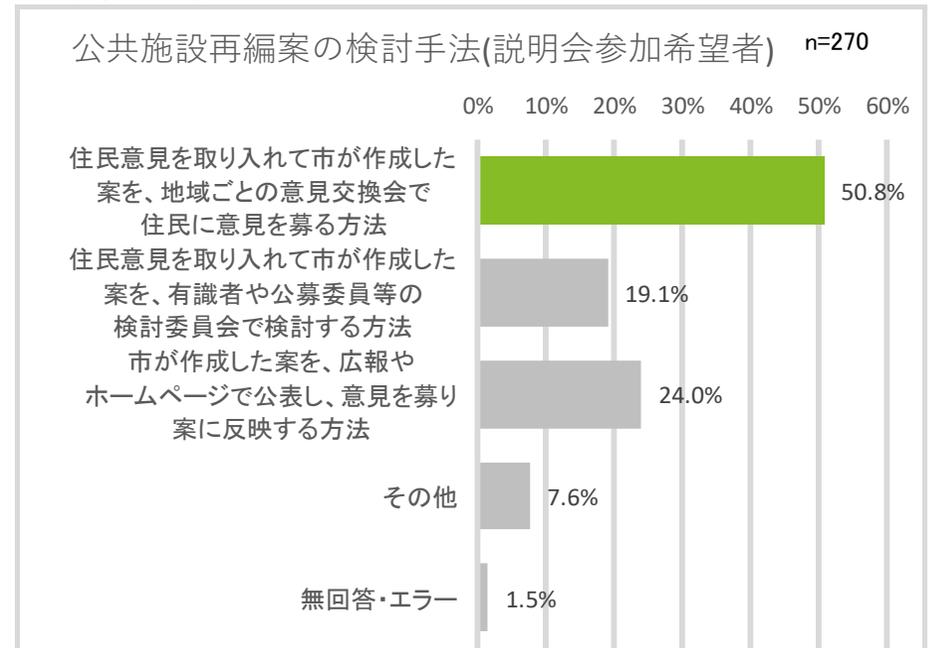
#### 公共施設の再編案の検討手法(市民)

- 市民アンケートの「公共施設の再編案の検討手法」では、3方法の中で、「住民意見を取り入れて市が作成した案を、地域ごとの意見交換会で住民に直接提案し、意見を募り案に反映する方法(以下、住民説明会開催)」が、34.4%で差は少ないが他の2案(28.3%、29.3%)よりも支持された



#### 公共施設の再編案の検討手法(市民・参加希望者)

- 回答者を説明会への参加意思(ぜひ出席したい・少し出席してみたい)がある人に限定すると、「住民説明会開催」が50.8%で半数を占めている(説明会に参加できない人は説明会以外の案を選択と想定)
- なお、地域拠点施設への期待別(期待度4・5と期待度1・2)で、「住民説明会開催」希望の割合(それぞれ37.7%、35.6%)に差はなかった

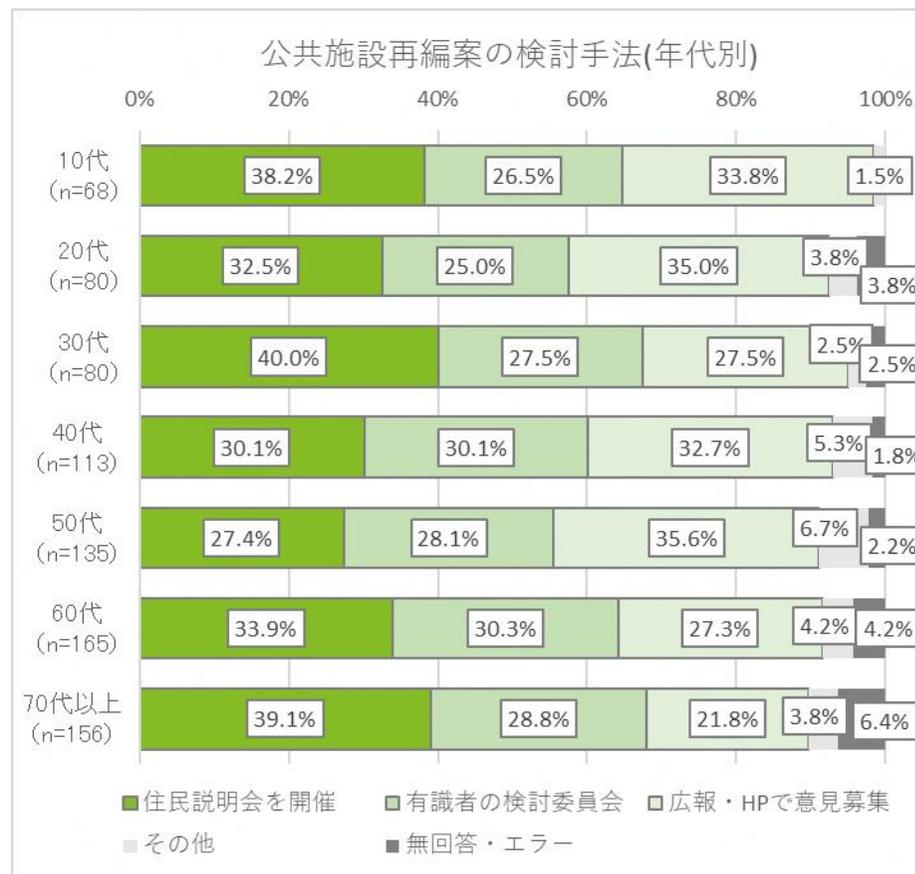


「住民説明会開催」は10代と30代、60～70代が多い一方、「広報・HPで意見募集」は50代、20代、40代では最多で、回答者を50代以下に限ると、「広報・HPで意見募集」が最多となる

## (2). 年代別合意形成手法 市民アンケート

### 公共施設の再編案の検討手法(市民:年代別)

- 市民アンケートの「公共施設の再編案の検討手法」では、年代別では、30代(40.0%)、70代以上(39.1%)、10代(38.2%)などでは、「住民説明会開催」が最多となっている
- 一方、50代(35.6%)、20代(35.0%)、40代(32.7%)では、「広報・HPで意見募集」が最多となっており、50代以下に限ると「広報・HPで意見募集」が多くなる

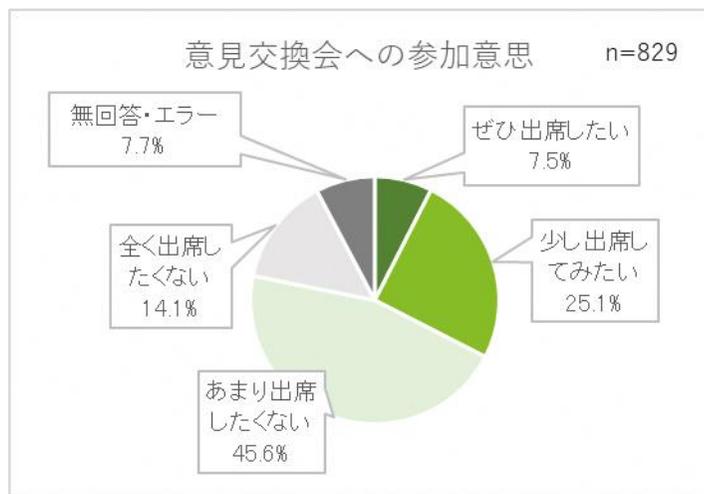


# 説明会を開催する場合の出席希望は全体の約3割あり、特に地域拠点施設化への期待度が高いほど、参加希望も高くなっている

## (3). 参加希望 市民アンケート

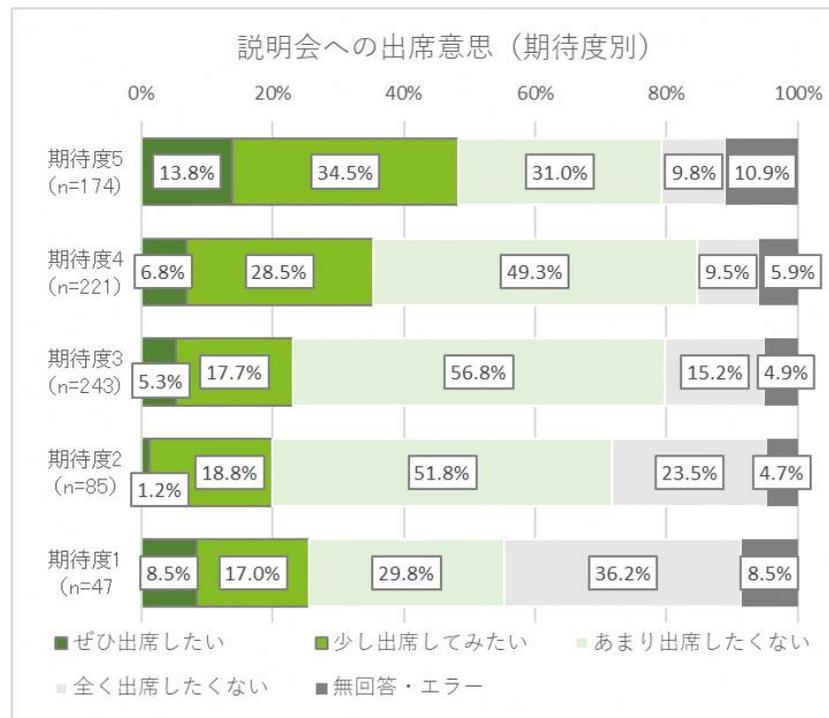
### 説明会への参加希望(市民)

- 説明会を開催する場合の参加希望は、参加希望が計32.6%(ぜひ出席したい7.5%、少し出席してみたい25.1%)であった



### 説明会への参加希望(市民:期待度別)

- 説明会を開催する場合の参加希望は、期待度が高いほど参加希望が高い傾向にあり、参加希望の割合が期待度5で計48.3%、期待度4で計35.3%であった

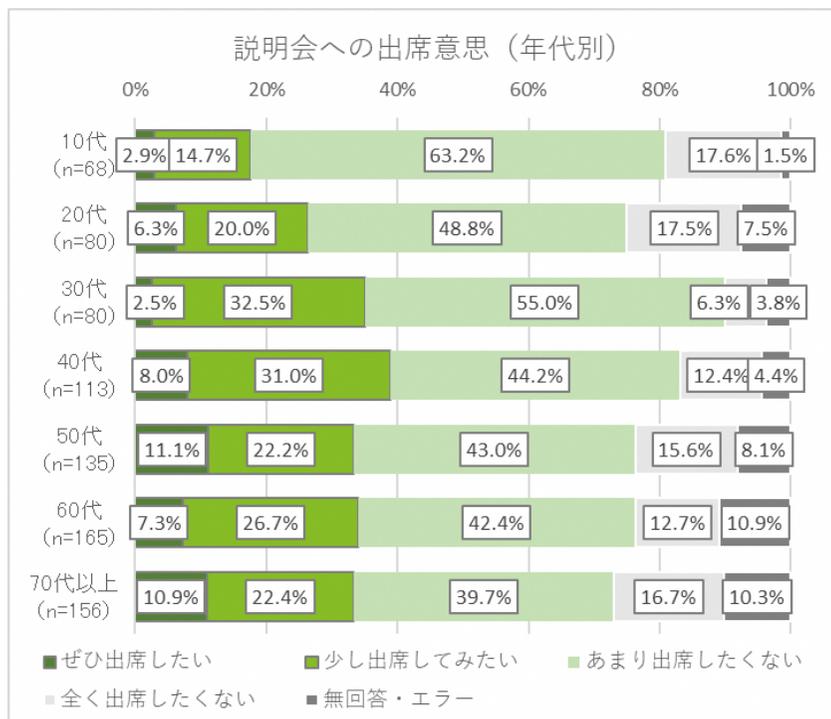


## 説明会へ出席は、特に「30～40代の人」と「公共施設の利用多い人」で参加希望が高い

### (4). 年代別等参加希望 市民アンケート

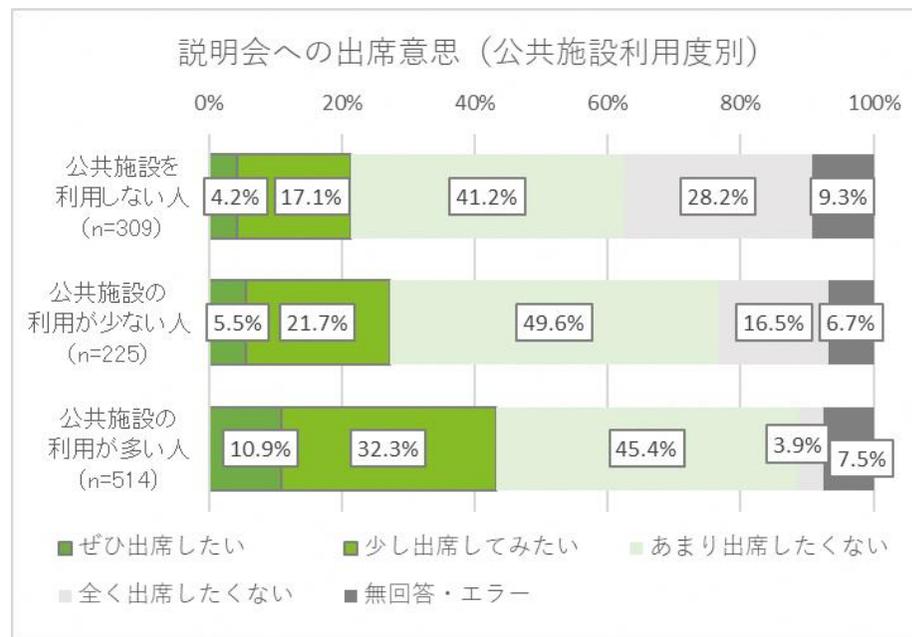
説明会への参加希望(市民:年代別)

- 説明会を開催する場合の参加希望は、年代別では、40代が39.0%で最も高く、次いで30代が35.0%と、30～40代の世代の参加希望が高い



説明会への参加希望(市民:公共施設利用度別)

- 説明会を開催する場合の参加希望は、公共施設の利用度合いでは、公共施設をよく利用する人が43.2%と参加希望が高い

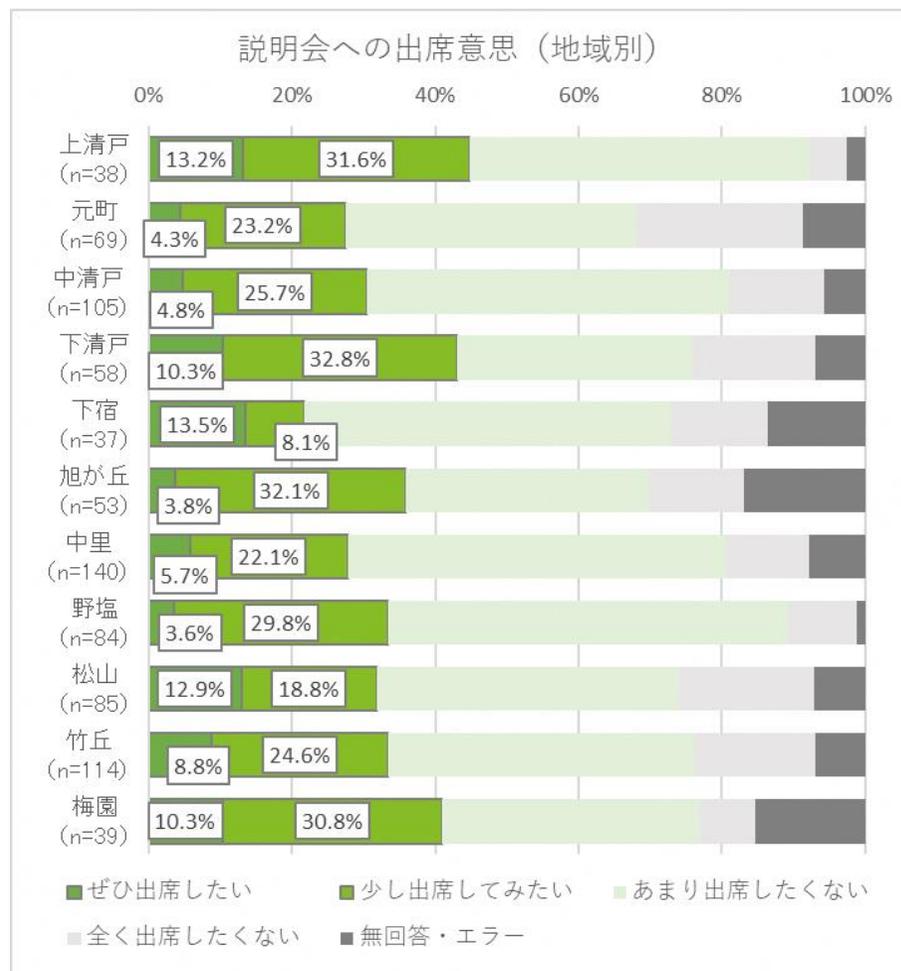


## 地域別では、「上清戸・下清戸・梅園地域の人」の参加希望割合が高い

### (5). 年代別等参加希望 市民アンケート

#### 説明会への参加希望(市民:地域別)

- 説明会を開催する場合の参加希望は、地域別では、上清戸地域が44.7%で最多であり、次いで下清戸地域が43.1%、梅園地域が41.0%と、北部地域を中心に高い
- 一方、下宿地域が21.6%で特に低く、次いで元町地域27.5%と参加率が低いため、注意が必要である

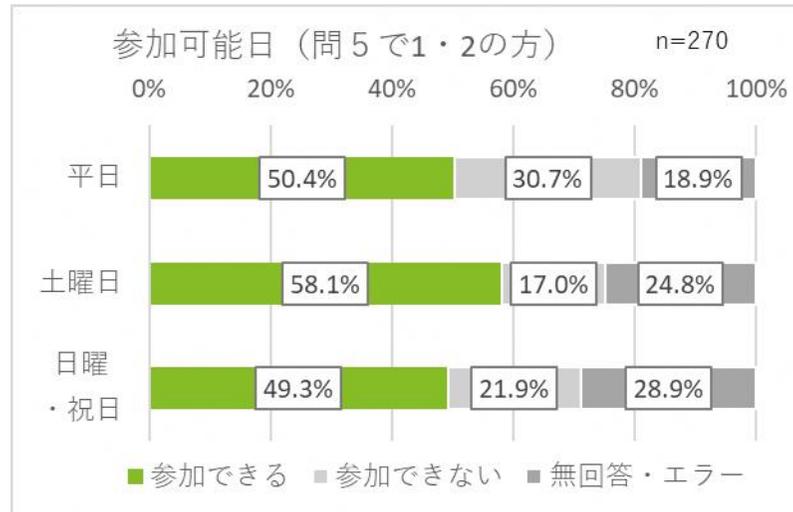


# 説明会開催日時は、平日と土日それぞれの、午前の10～12時と、午後の13～16時が良いと考えられる

## (6). 参加可能曜日 市民アンケート

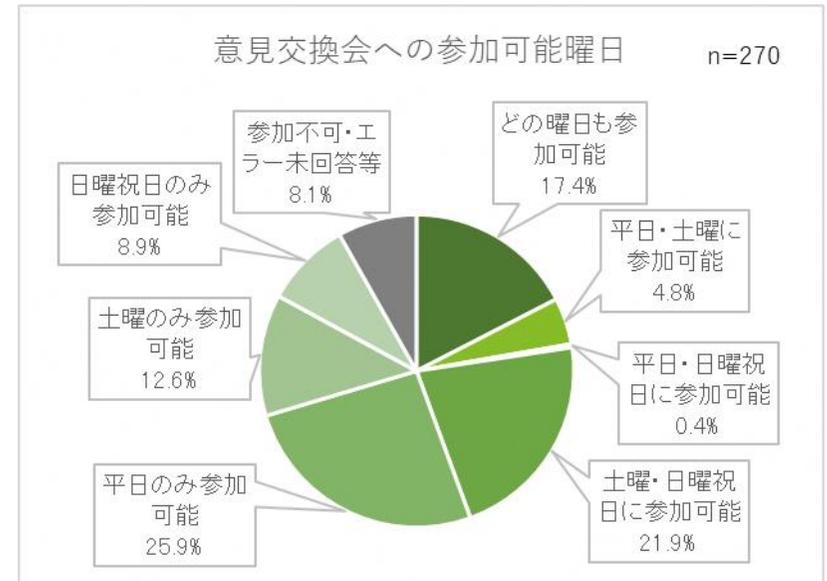
説明会の開催希望日(市民)

- 説明会の参加希望者(270名)のうち、参加できる曜日は、土曜日58.1%で最多であり、平日50.4%、日曜・祝日49.3%では大きな差はなかった。



説明会の開催希望日構成(市民)

- 説明会の参加希望者(270名)のうち、参加できる曜日の組み合わせは、平日のみ参加可能が25.9%で最多で、次いで土曜・日曜に参加可能が21.9%などとなっていた

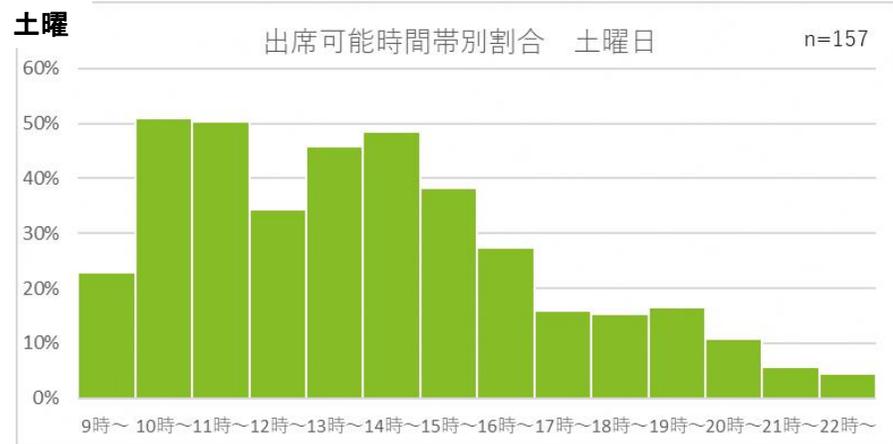
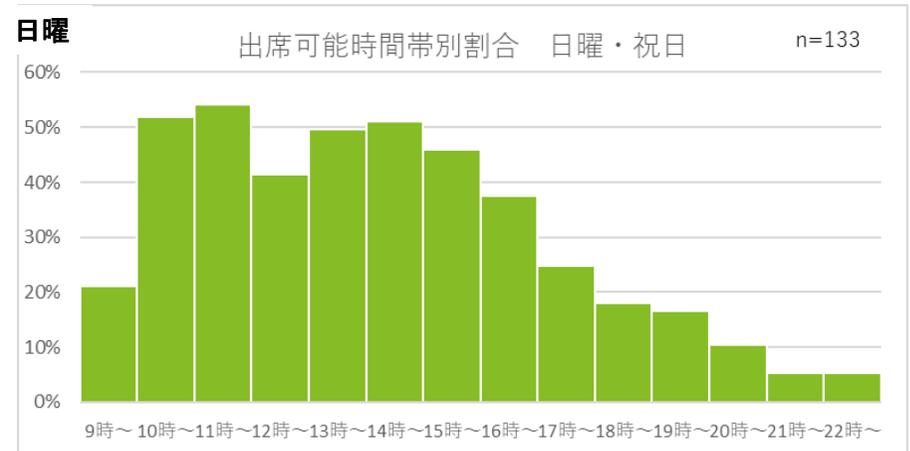
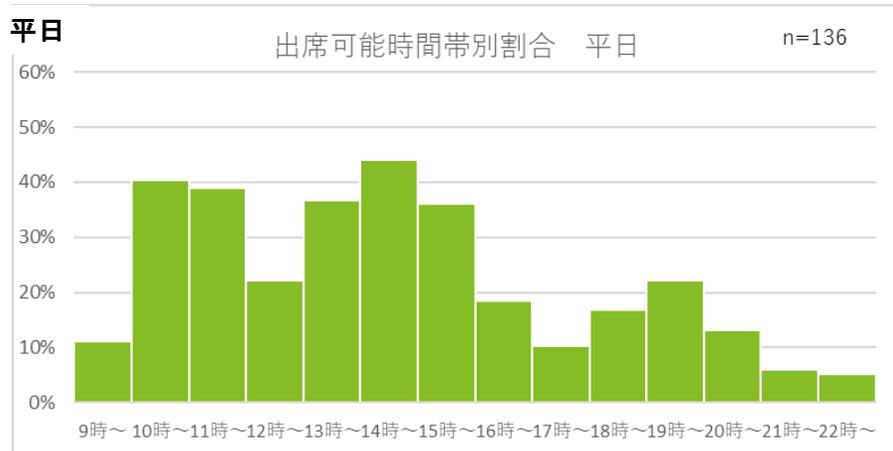


# 説明会開催日時は、平日と土日それぞれの、午前の10～12時と、午後の13～16時が良いと考えられる

## (7). 参加可能時間 市民アンケート

### 説明会への参加希望(市民)

- 参加可能時間帯では、どの曜日であっても、午前の10～12時と、午後の13～16時に山ができていた



※ グラフ中の分母は、各曜日の参加希望者の人数である

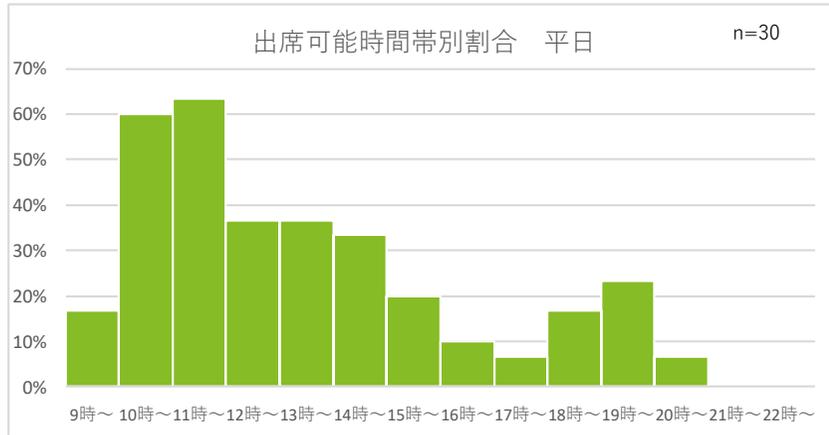
# 30～40代では参加可能なのは、曜日では土曜日が、時間帯では午前の10～12時が最多となっている

## (8). 30～40代の参加可能時間 市民アンケート

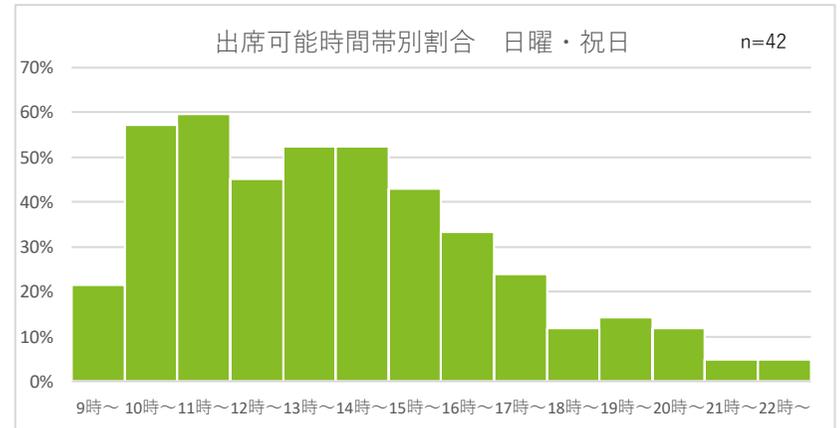
説明会への参加希望(30～40代の市民)

- 市民のうち30～40代の人々の参加可能時間帯では、どの曜日でも、午前の10～12時が最多となっている
- 分母である各曜日の参加希望者人数は、土曜日が最多となっている

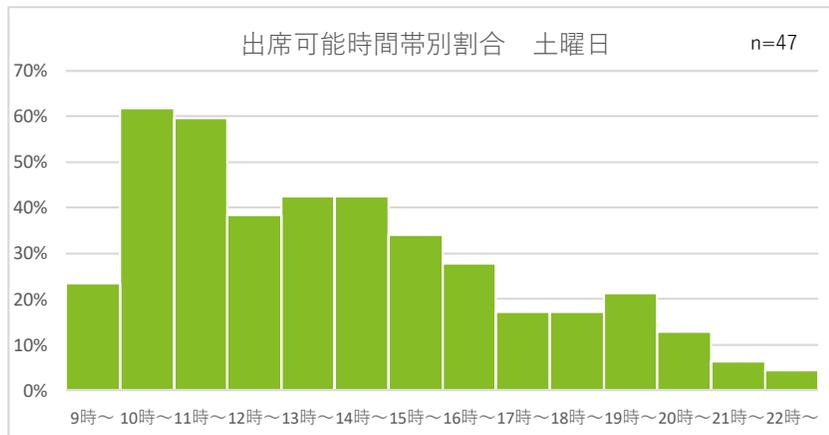
平日



日曜



土曜



※ グラフ中の分母は、各曜日の30～40代の参加希望者の人数である

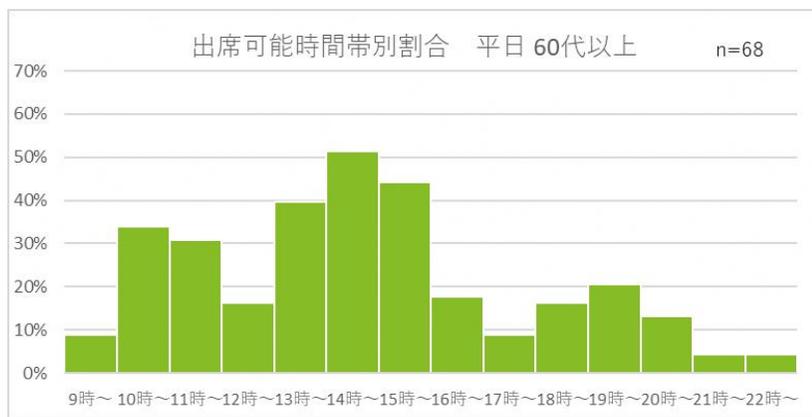
# 60代以上では参加可能なのは、曜日では平日が、時間帯では午後の13～16時が最多となっている

## (9). 60代以上の参加可能時間 市民アンケート

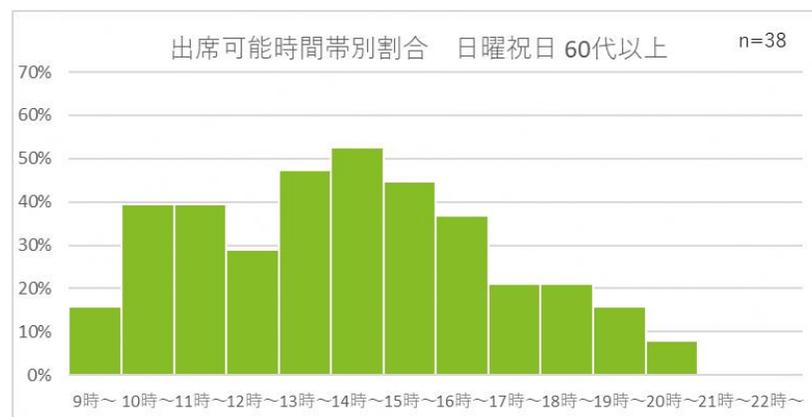
### 説明会への参加希望(60代以上の市民)

- 市民のうち60代以上の人の参加可能時間帯では、どの曜日でも、午後の13～16時が最多となっている

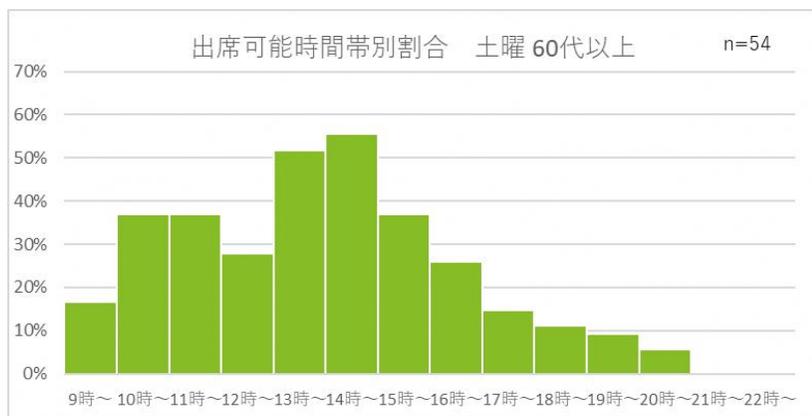
平日



日曜



土曜



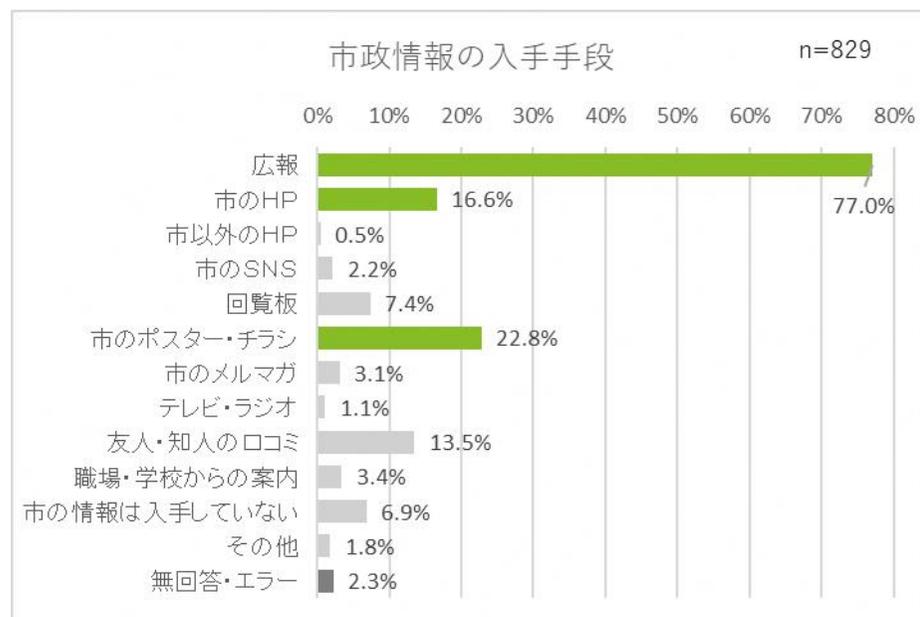
※ グラフ中の分母は、各曜日の60代以上の参加希望者の人数である

## 市政情報などを得る媒体は、市民・利用者共に広報が最も多くなっている

### (10).市政情報入手方法 市民・利用者アンケート

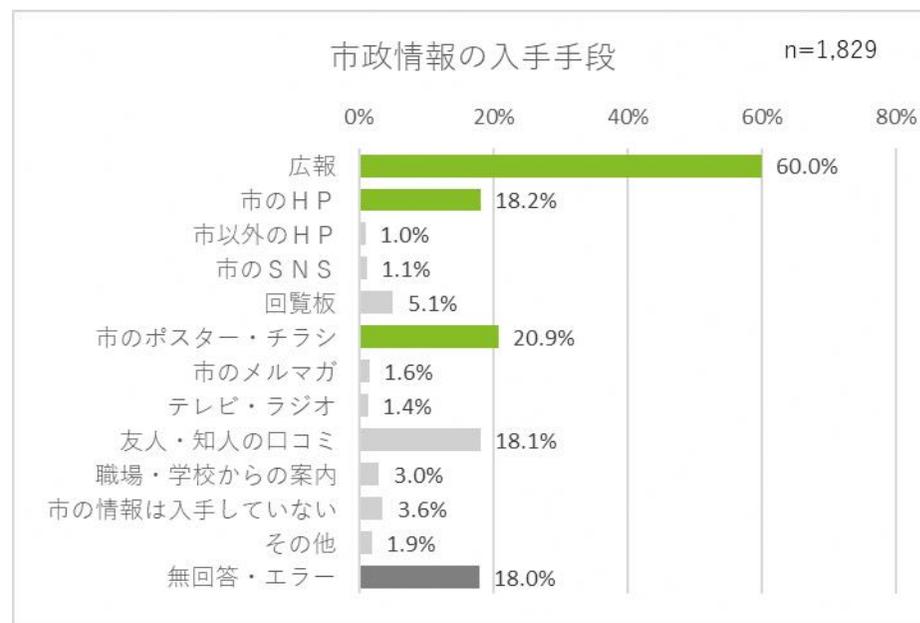
#### 市政情報の入手媒体(市民)

- 市民が「市政情報などを得る媒体」では、「広報」が約8割と最も高く、次いで「市のポスター・チラシ」「市のHP」が多くなっている



#### 市政情報の入手媒体(利用者)

- 利用者が「市政情報などを得る媒体」では、市民と同様に、「広報」が約6割と最も高く、次いで「市のポスター・チラシ」「市のHP」「友人・知人の口コミ」が多くなっている
- 入手手段の構成は市民と同じであり、「無回答・エラー」が18.0%あり、ほぼ同様の構成となっている

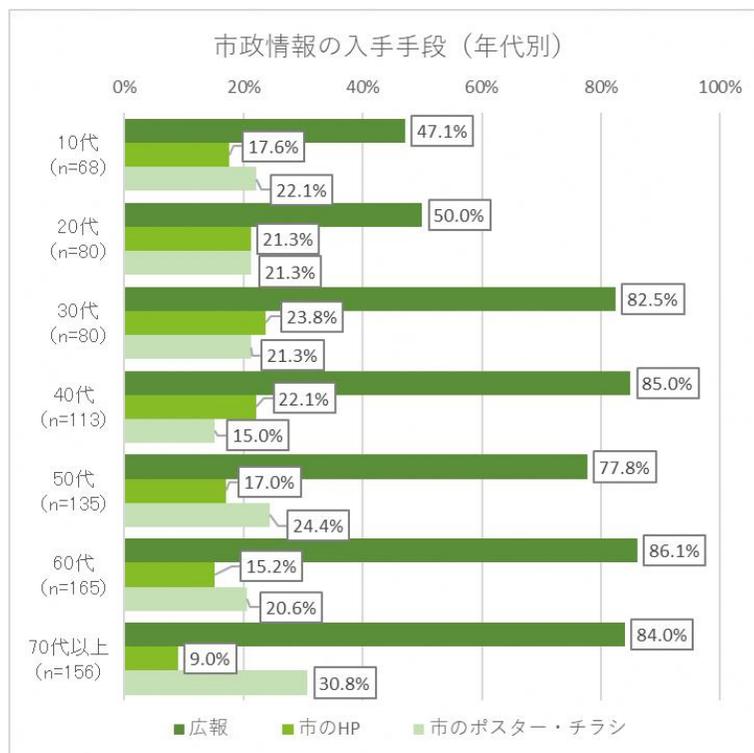


## どの年代も「広報」による入手手段が最多で、30～40代では「市のHP」が2番目に高く、60代以上では市民・利用者共に「市のポスター・チラシ」が2番目に高くなっている

### (11).年代別市政情報入手方法 市民・利用者アンケート

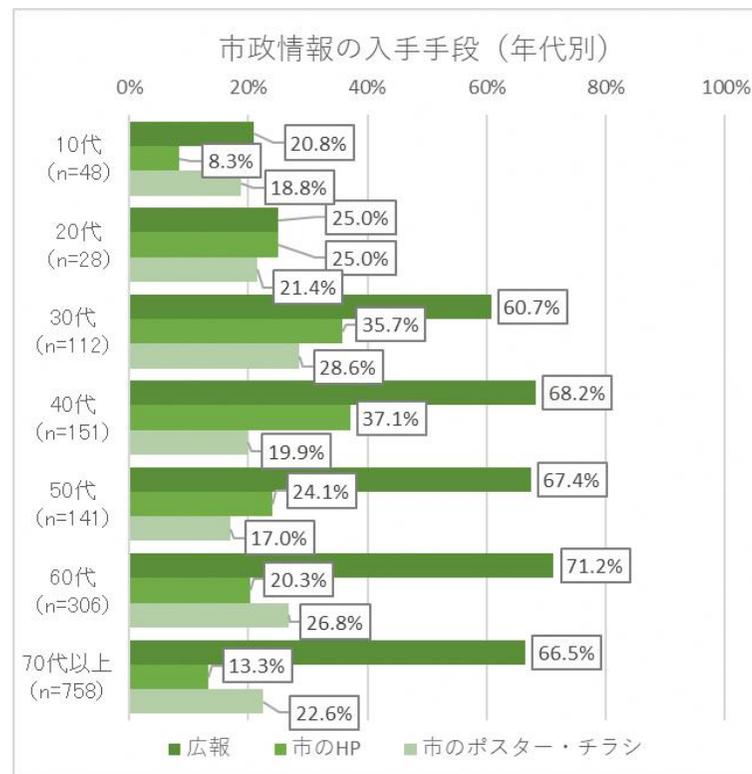
——— 市政情報の入手媒体(市民:年代別) ———

- 市民が「市政情報などを得る媒体」では、どの年代でも「広報」が最も高くなっているが、特に30代以上で高い
- 一方、30～40代では「市のHP」が2番目に高く、50代以上では「市のポスター・チラシ」が2番目に高くなっている



——— 市政情報の入手媒体(利用者:年代別) ———

- 市民と同様に、利用者が「市政情報などを得る媒体」では、どの年代でも「広報」が最も高くなっているが、特に30代以上で高い
- また、20～50代では「市のHP」が2番目に高く、60代以上では「市のポスター・チラシ」が2番目に高くなっている



## **3. 具体的なアンケート結果**

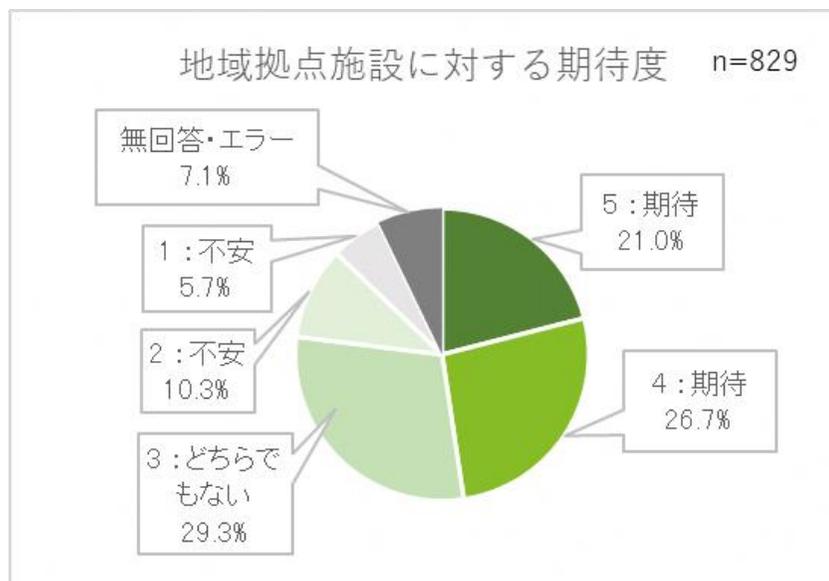
### **3-3. 合意形成内容への市民意見**

## 地域拠点施設化は、市民の約半数および利用者の半数近くが期待を寄せ、不安に思う人の割合が低くなっており、総論としては概ね賛成となっている

### (1). 地域拠点施設化への期待 市民・利用者アンケート

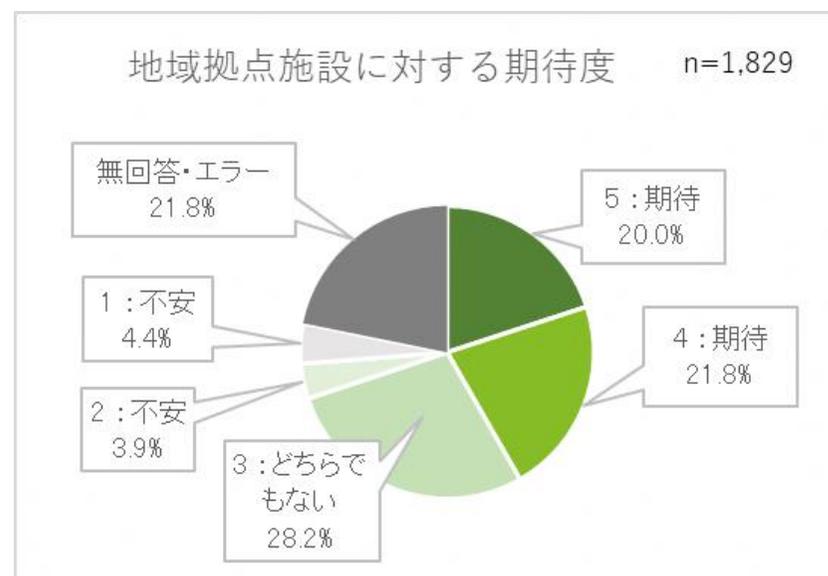
#### 地域の拠点施設に対する期待度(市民)

- 地域拠点施設に対しては、市民アンケートでは、市民の約半数(47.7%)が期待を寄せている



#### 地域の拠点施設に対する期待度(利用者)

- 利用者アンケートでも、利用者の半数近く(41.8%)が期待を寄せている
- ※ 半数未満であるが、無回答が21.8%と多いことに留意

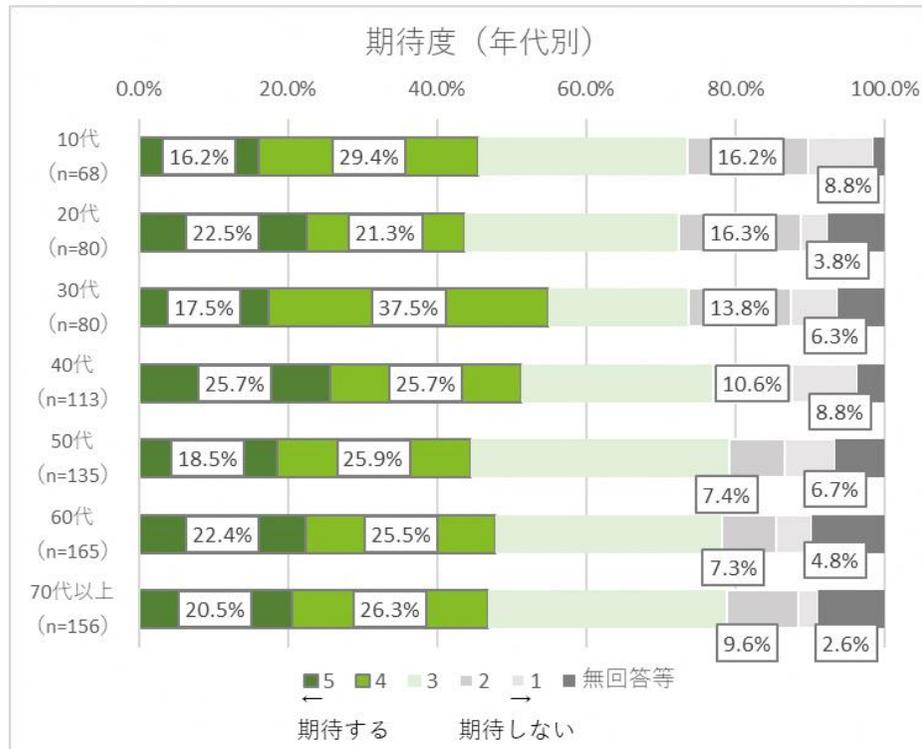


# 市民アンケートでは、「30～40代」「公共施設をよく利用する人(高齢者層が主な利用者)」で、期待度が高い

## (2). 年代別等の地域拠点施設化への期待 市民アンケート

年代別の地域拠点施設に対する期待度(市民)

- 年齢層別では、地域拠点施設に対して、30代と40代の人比其他の年代よりも期待度が高くなっている
- 10～20代の若者世代では、期待度が低い人が比較的多い



公共施設の利用度別の地域拠点施設に対する期待度(市民)

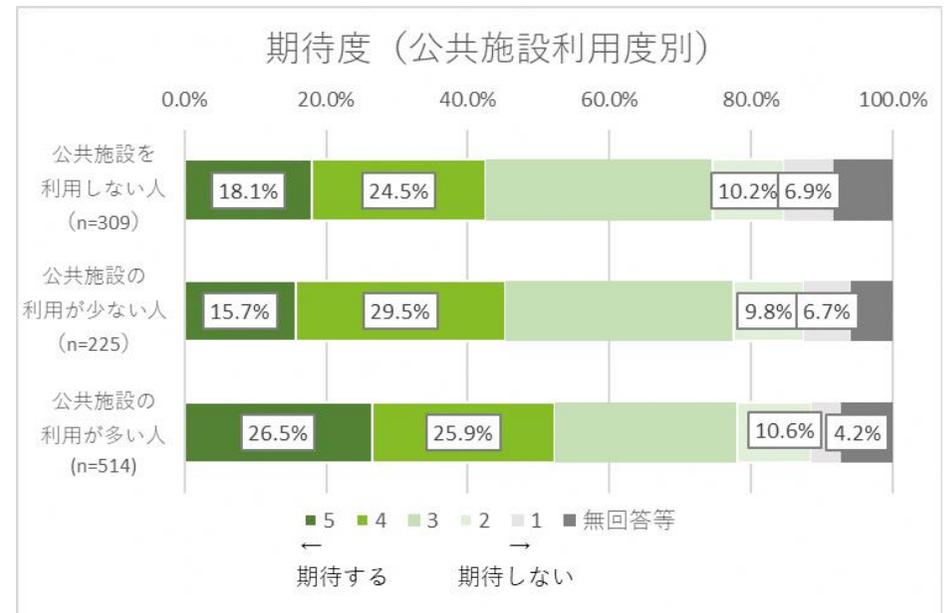
- 利用している公共施設との関係では、公共施設の利用が多いほど、地域拠点施設に対する期待度が高くなっている

※ 公共施設の利用度は、以下のように整理している

利用しない: 過去1年間の公共施設の利用度合いが0または無回答

利用が多い: いずれかの施設を月1以上の定期利用している、または3か所以上利用している

利用が少ない: 上記の中間

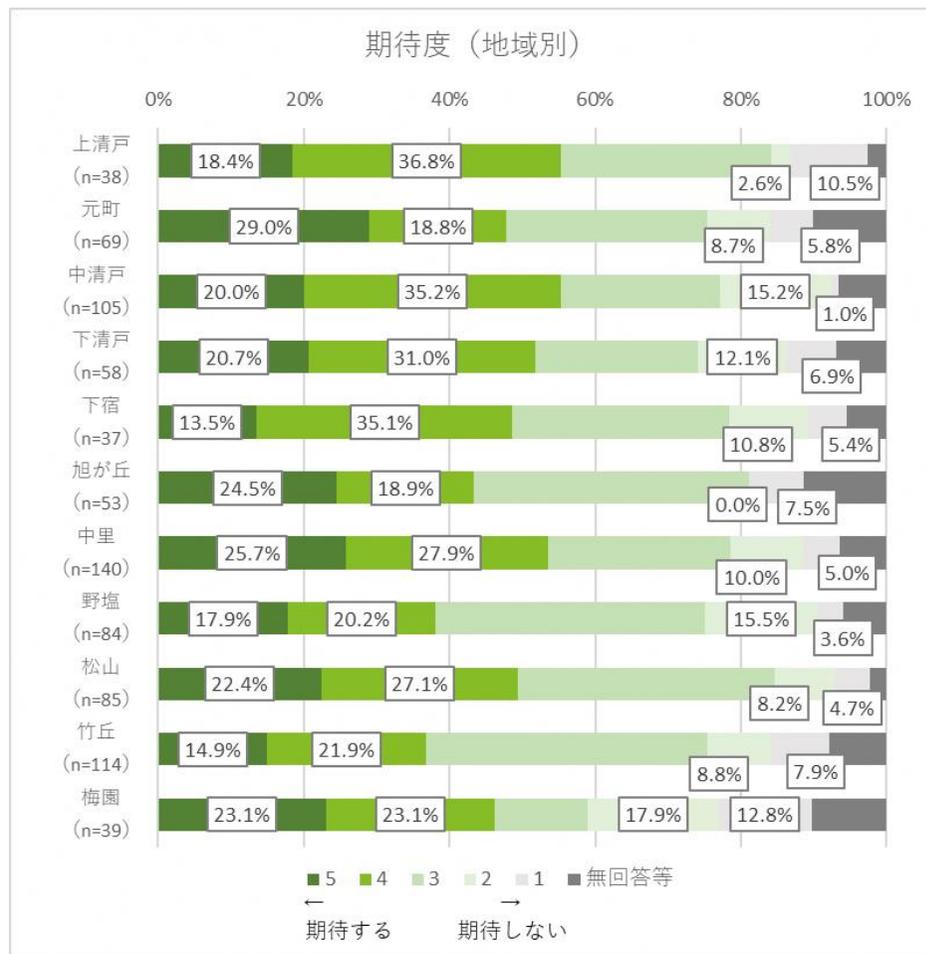


# 「中部の上清戸・中清戸・中里地域の方」で期待度が高い人が多く、「南部地区の野塩・梅園地区の方」で期待度が低い人が多い

## (3). 地域別の地域拠点施設化への期待 市民アンケート

年代別の地域拠点施設に対する期待度(市民:地域別)

- 地域別では、地域拠点施設に対して期待が高い(4・5を選択)のは、上清戸(55.3%)、「中清戸(55.2%)」、「中里(53.6%)」などで多く、「竹丘(36.8%)」「野塩(38.1%)」で少なくなっている
- 一方、期待度が低い(1・2を選択)のは、「梅園(30.7%)」「野塩(19.1%)」で多く、結果として南部地域において期待度が低い人が多い

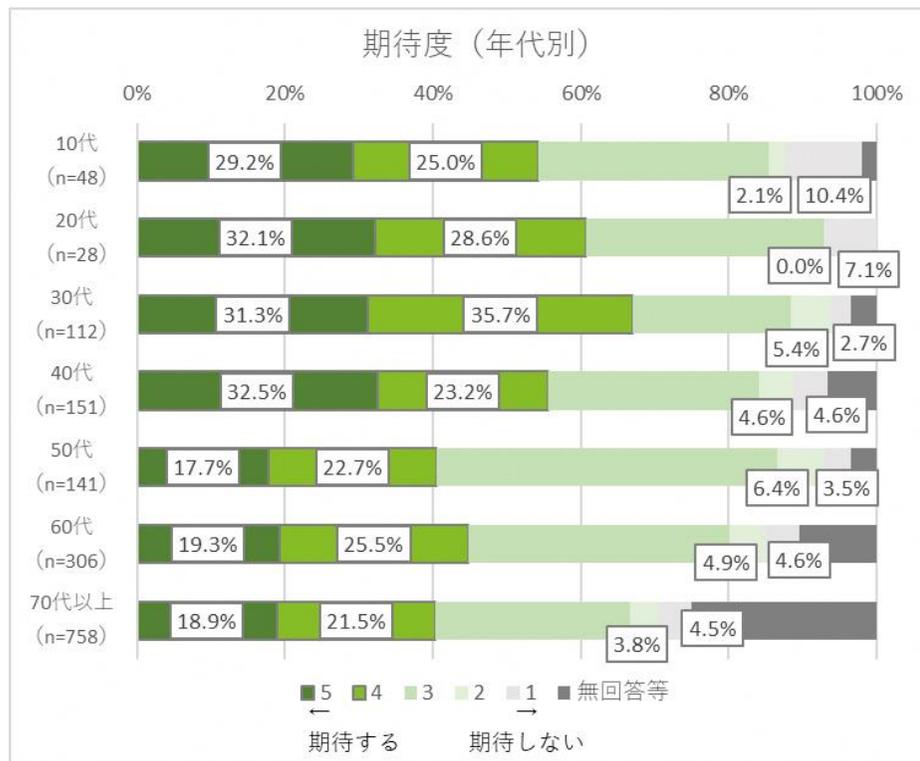


# 利用者アンケートでは、「20～40代」や「今の公共施設への満足度が高い人」で、期待度が高い

## (4). 年代別等の地域拠点施設化への期待 利用者アンケート

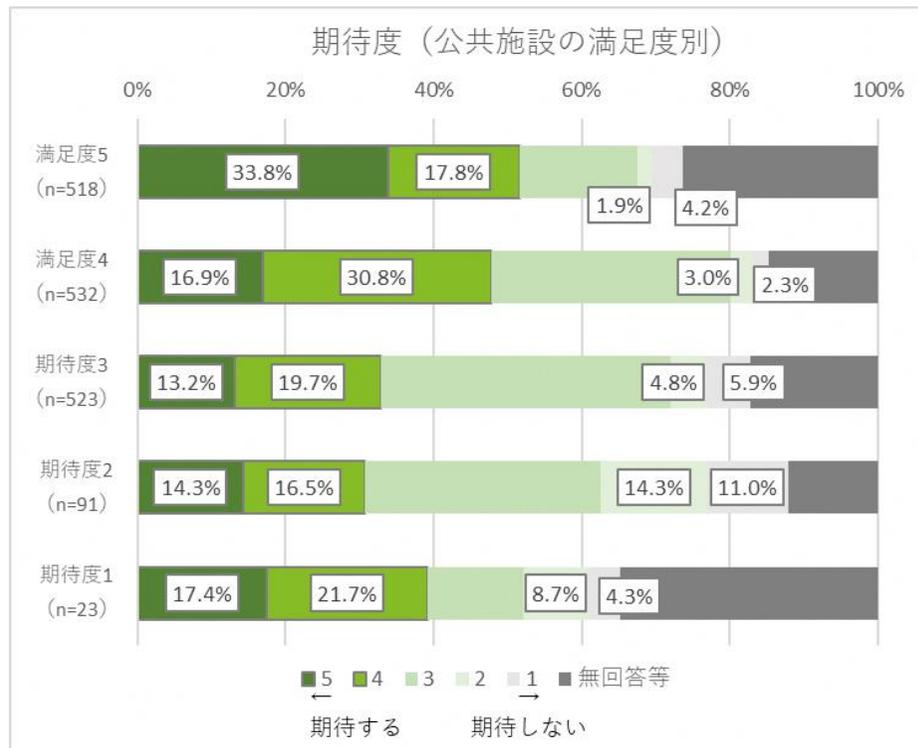
年代別の地域拠点施設に対する期待度(利用者)

- 利用者アンケートでも、年齢層別では、地域拠点施設に対して、20～40代の人の方が他の年代よりも期待度が高くなっている



満足度別の地域拠点施設に対する期待度(利用者)

- 利用者アンケートで、今の公共施設への満足度別では、満足度の高い人の方が、期待度が高い傾向がある

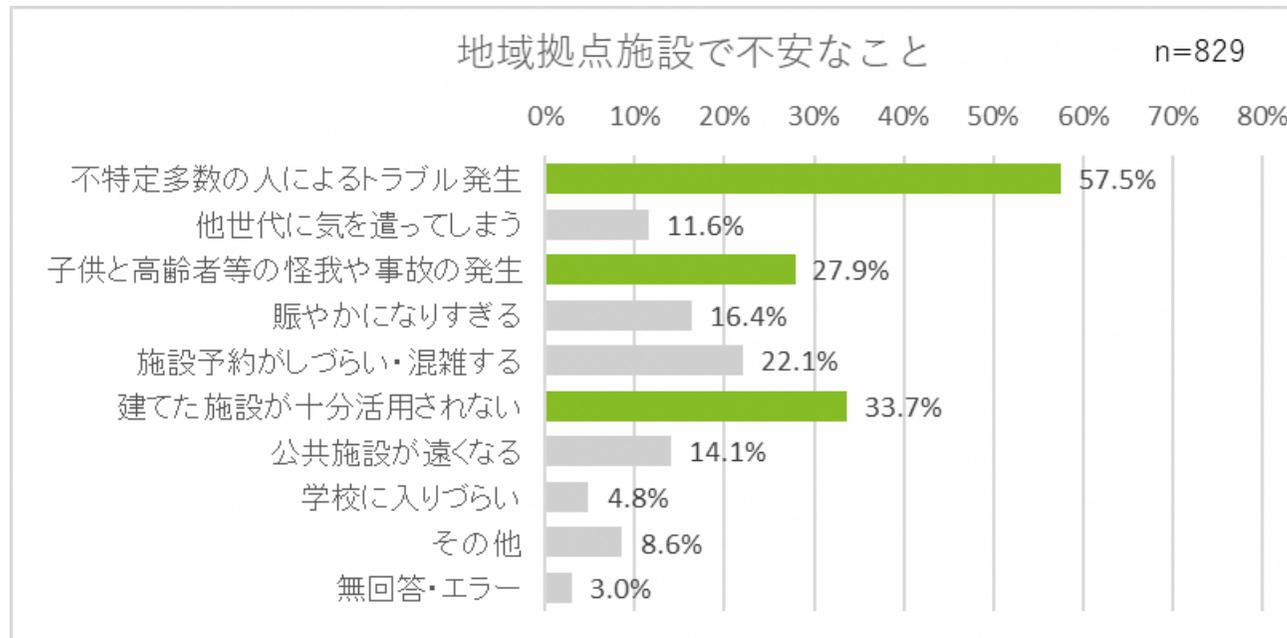


## 市民の地域拠点施設への不安は、「不特定多数の人によるトラブル」「施設が活用されない」であるため、運用を含む安全対策や有効活用の事前整理・説明が重要となる

### (5). 地域拠点施設化への不安点 市民アンケート

#### 地域の拠点施設に対する不安(市民)

- 市民の地域拠点施設への不安では、市民の約6割が「不特定多数の人によるトラブル発生」、約3割が「建てた施設が十分活用されない」を挙げ、これらの割合が高くなっている
- そのため、地域拠点施設への反対で多いのは、この2点であると考えられる
- なお、その他の記述欄でも子供のセキュリティ面を気にするものが多くあった

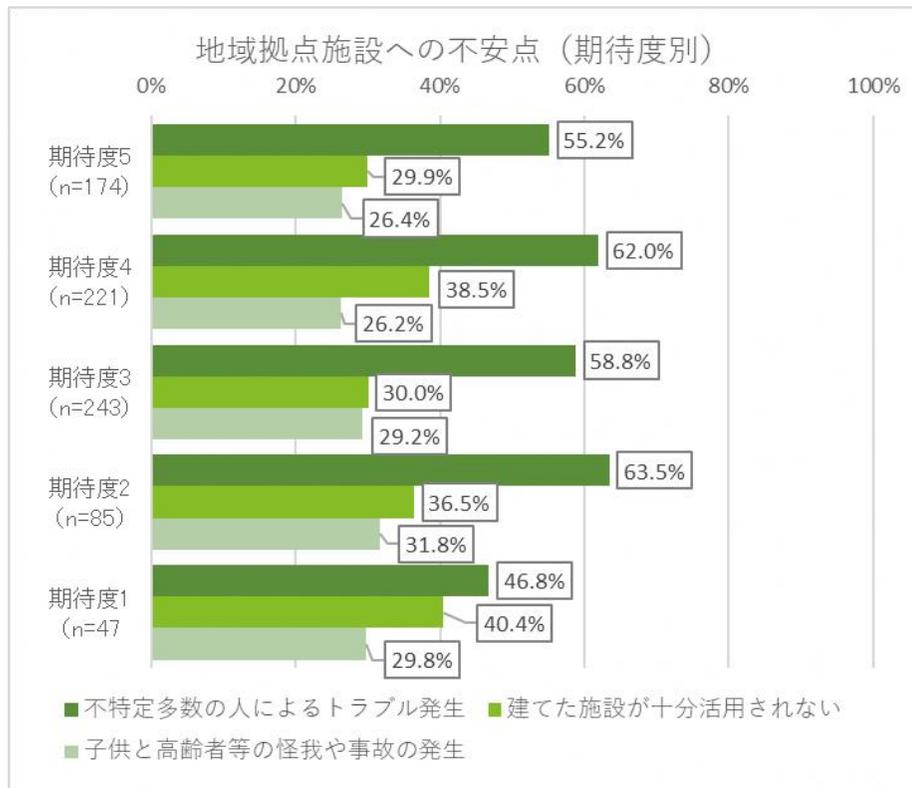


# 期待度に関わらず、不安点は「不特定多数の人によるトラブル発生」「建てた施設が活用されない」の順だが、期待度が低い人ほど不安点が多い傾向にある

## (6). 地域拠点施設化への不安点 市民アンケート

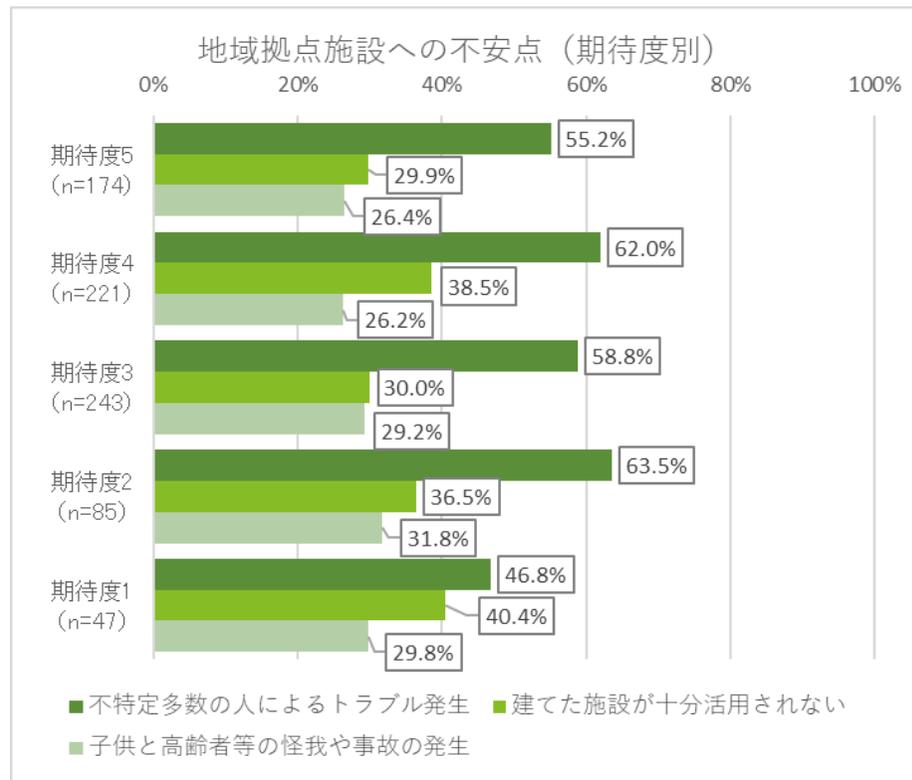
地域の拠点施設に対する不安(市民:期待度別)

- 期待度に関わらず、「不特定多数の人によるトラブル発生」が最も不安に思われており、次いで「建てた施設が活用されない」「子供と高齢者等の怪我や事故の発生」の順で多くなっている



地域の拠点施設に対する不安(市民:期待度別)

- 期待度が低い人ほど、多くの不安点を抱えており、期待度の低い人は不安点の選択数が2.3個で、全体の2.1個より多い



# 10～40代の若者世代は、トラブルや怪我・事故など、問題発生をより懸念している また、地域別では「梅園」地域の人で不安点が多い

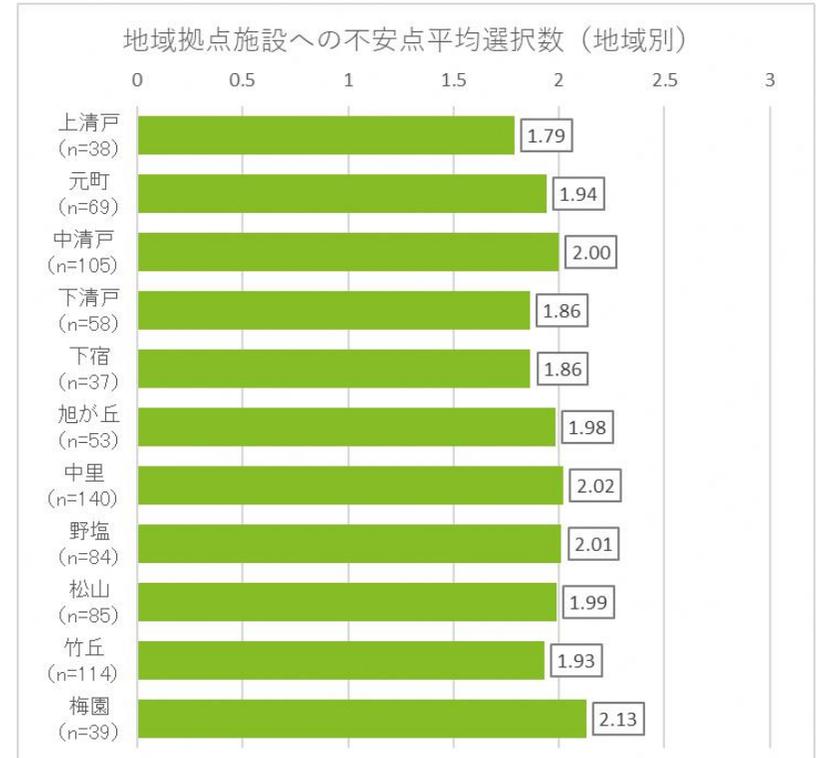
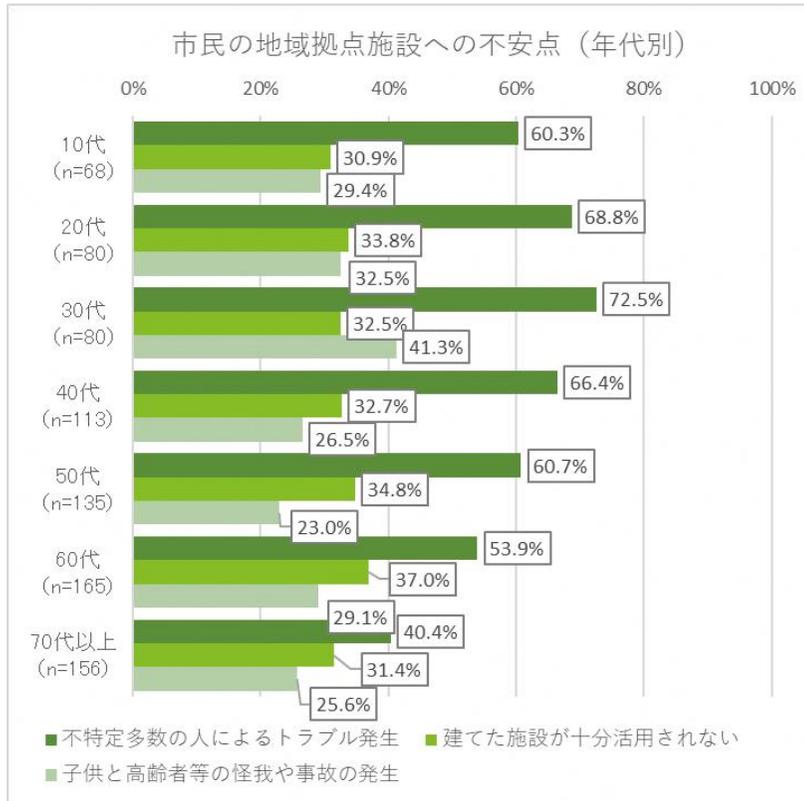
## (7). 年代別等の地域拠点施設化への不安点 市民アンケート

地域の拠点施設に対する不安(市民:年代別)

- 30代は、「不特定多数の人によるトラブル発生」が72.5%、「子供と高齢者等が関係する怪我や事故の発生」が41.3%と多い

地域の拠点施設に対する不安(市民:地域別)

- 地域別では、「梅園」の人が不安点の選択数が2.13個と多い

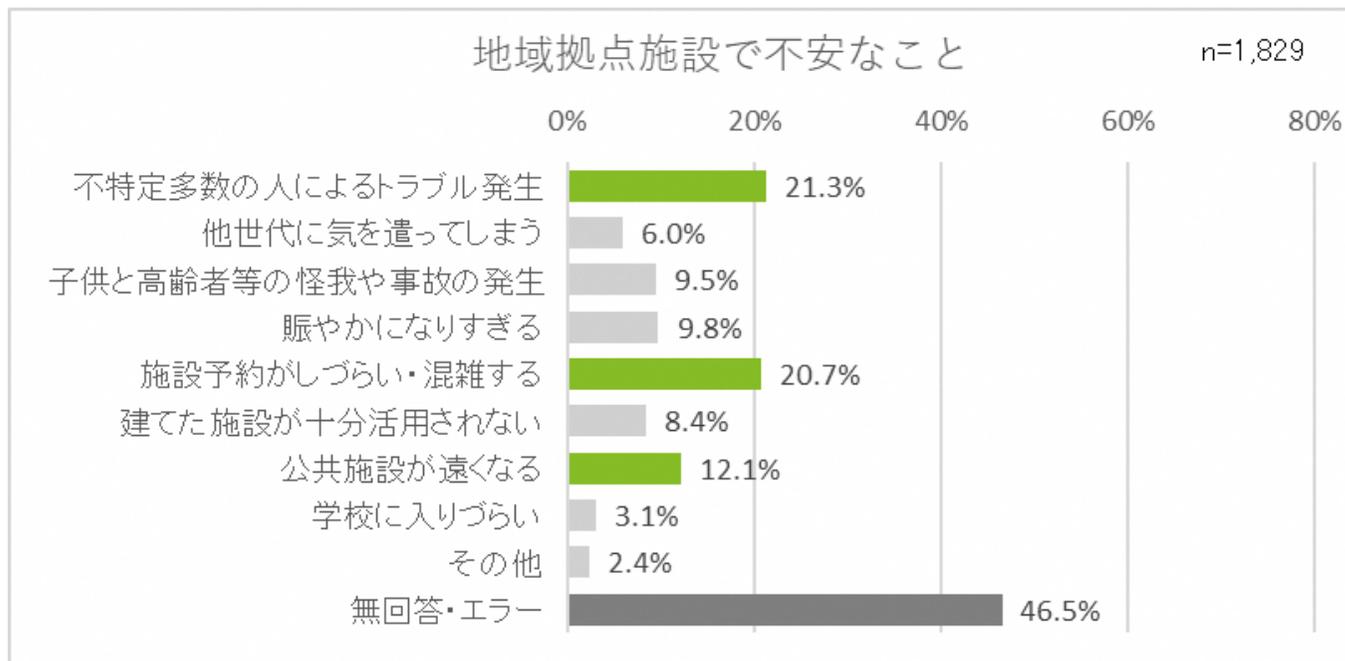


## 利用者の不安は、「不特定多数の人によるトラブル」「予約しづらい・混雑」が多いが、約2割と不安に思う人が少なくなっている

### (8). 地域拠点施設化への不安点 利用者アンケート

#### 地域の拠点施設に対する不安(利用者)

- 利用者の地域拠点施設への不安では、「不特定多数の人によるトラブル発生」と「施設予約がしづらい・混雑する」を約2割の人が挙げている
- 当初仮設で気にしていた、「公共施設が遠くなる」は12.1%で3番目に高いにとどまる
- また、市民に比べて、全般的に不安要素を回答している人の割合が低い  
(無回答が多いことに留意。加えて、市民と比べて、利用者は、自身を含む現在公共施設を利用している人を知っているため、不特定多数の人によるトラブルを比較的不安に思っていないと考えられる)

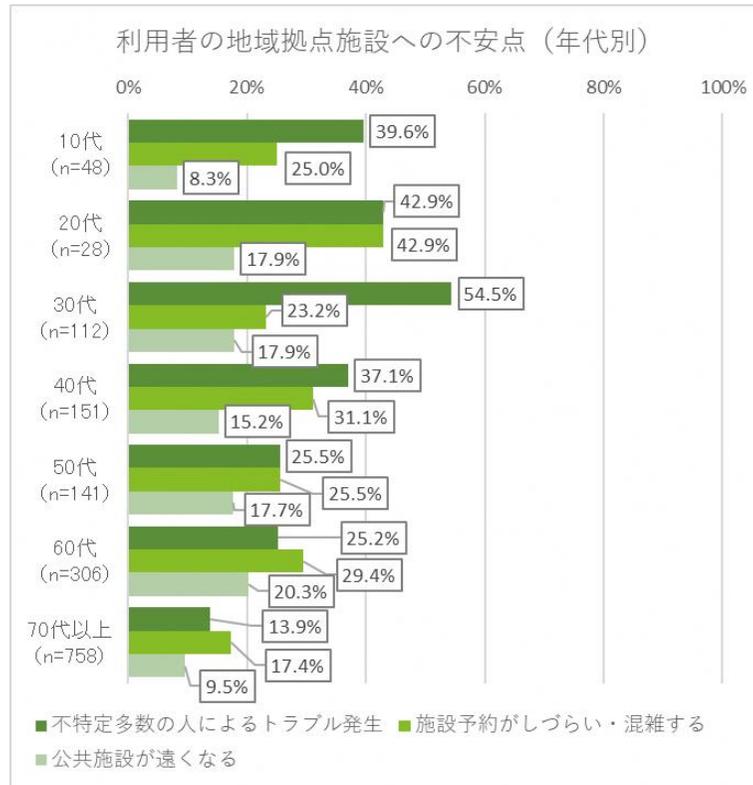


# 10～40代の若者世代は、トラブルや怪我・事故など、問題発生をより懸念している 今の施設が近い人ほど、施設が遠くなるという不安があるが、それほど高くない

## (9). 年代別等の地域拠点施設化への不安点 利用者アンケート

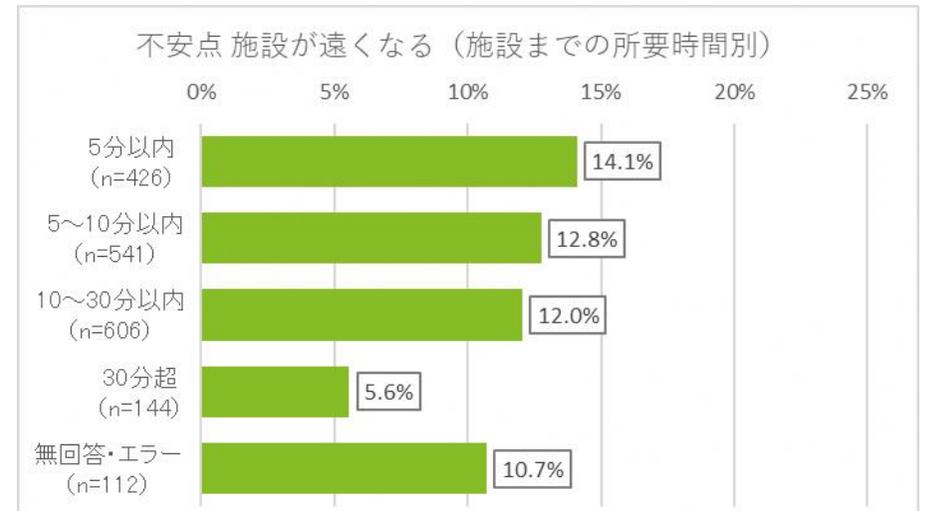
地域の拠点施設に対する不安(利用者:年代別)

- 「不特定多数の人によるトラブル発生」は30代が54.5%、20代で42.9%などと高い
- 一方で、60代が25.2%、70代以上が13.9%など、年齢が上になるほど低くなり、「施設予約がしづらい・混雑する」の方が高くなる



地域の拠点施設に対する不安(利用者:所要時間別)

- 「公共施設が遠くなる」を不安点として挙げている人は、施設への所要時間が短いほど多い傾向にある
- ただし、一番近い施設までの所要時間が5分以内の利用者に限定しても、14.1%と、意見として多くはない

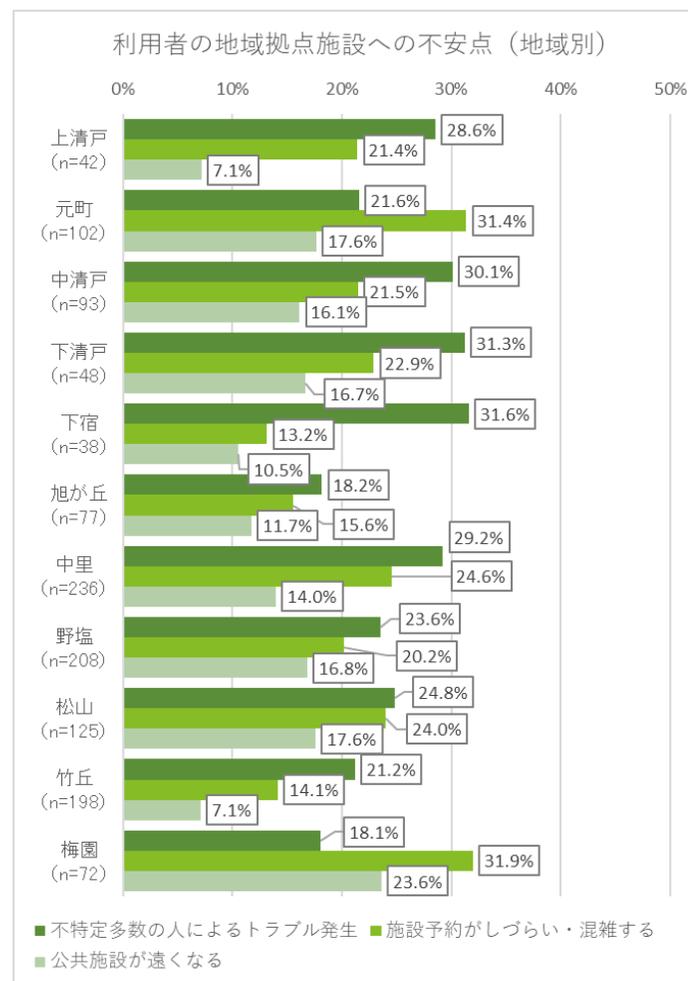


# 「不特定多数の人によるトラブル発生」をより不安に思うのは下宿・下清戸地域である。 「梅園」地域では、「予約がしづらい・混雑する」が特に多い

## (10). 地域等の地域拠点施設化への不安点 利用者アンケート

### 地域拠点施設に対する不安点(利用者:地域別)

- 地域別では、「下宿地域(31.6%)」と「下清戸地域(31.3%)」で「不特定多数の人によるトラブル発生」が高い
- また、「梅園」の人が「予約がしづらい・混雑する」が31.9%、「公共施設が遠くなる」が23.6%と、全体(20.7%、12.1%)よりそれぞれ10%以上高く、地域別で最も高くなっている

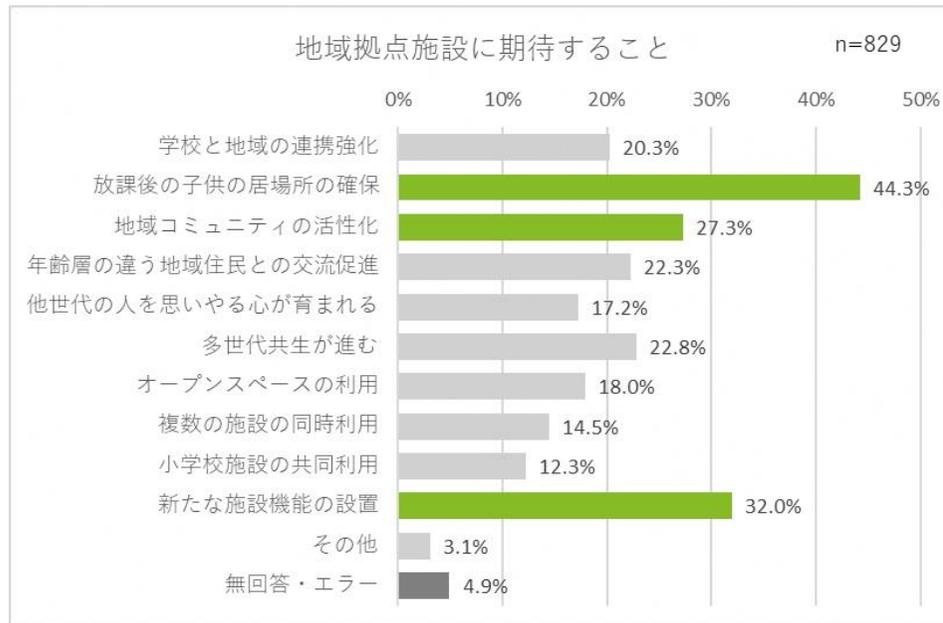


# 地域拠点施設化に期待することでは、「放課後の子どもの居場所の確保」が30代を中心に、ほとんどの年代で高く、50代以上では「地域コミュニティの活性化」も高くなっている

## (11).拠点施設化への期待点 市民アンケート

### 地域拠点施設に期待すること(市民)

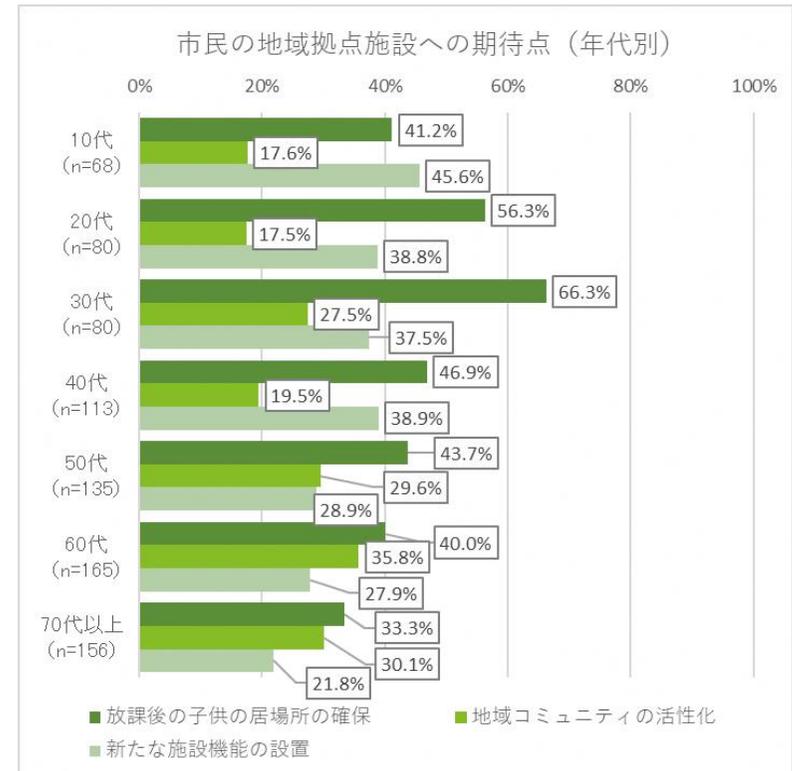
- なお、市民アンケートでは、地域拠点施設への期待で多いのは、市民が「放課後の子どもの居場所の確保(44.3%)」と「新たな施設機能の追加(32.0%)」が多くなっている



※複数回答は3つまで可

### 地域拠点施設に期待すること(市民:年代別)

- 年代別に上位3項目をみると、「放課後の子どもの居場所の確保」が10代以外の年代では最多であり、30代の66.3%をピークに、20~50代が多い
- 「地域コミュニティの活性化」は50代以上で比較的多くなっている



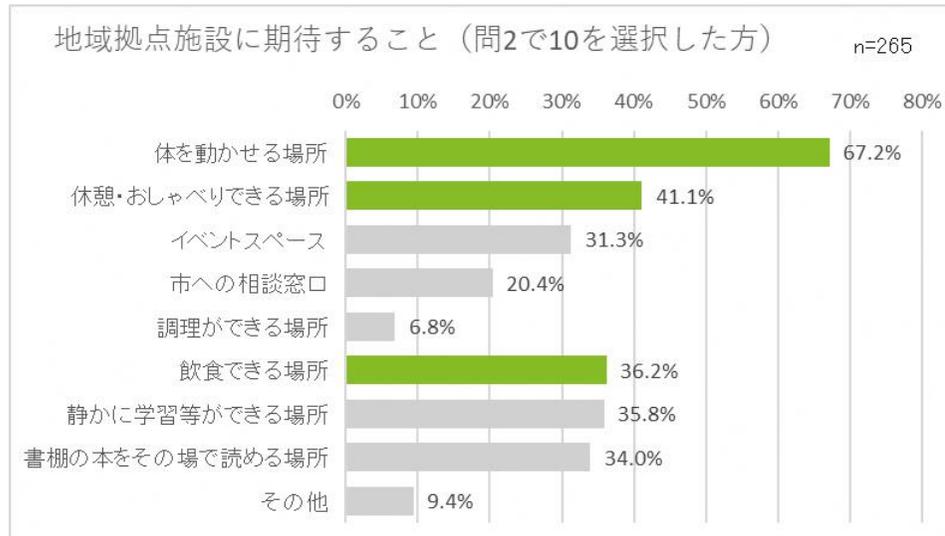
※複数回答は3つまで可

## 地域拠点施設化における「新たな機能の追加」では、「体を動かせる場所」を求める人が特に多い

### (12).拠点施設化への期待施設 市民アンケート

#### 期待する新施設機能(市民)

- 期待する新施設機能として、「体を動かせる場所」を希望する人が特に多くなっている



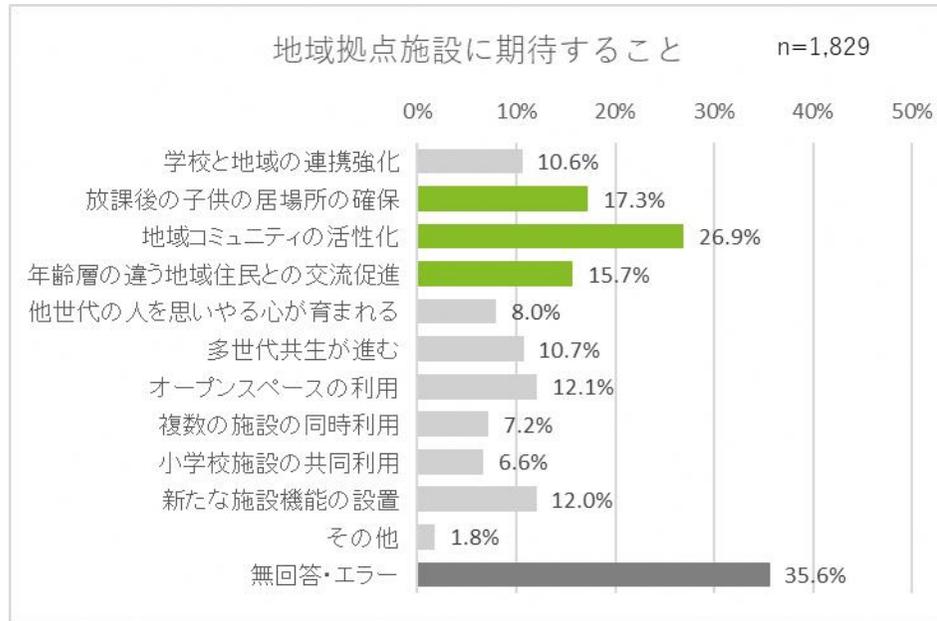
※複数回答は3つまで可

# 地域拠点施設化に期待することでは、10～40代が期待する「放課後の子どもの居場所の確保」と、50代以上の方が期待する「地域コミュニティの活性化」が多い

## (13).拠点施設化への期待点 利用者アンケート

地域拠点施設に期待すること(利用者)

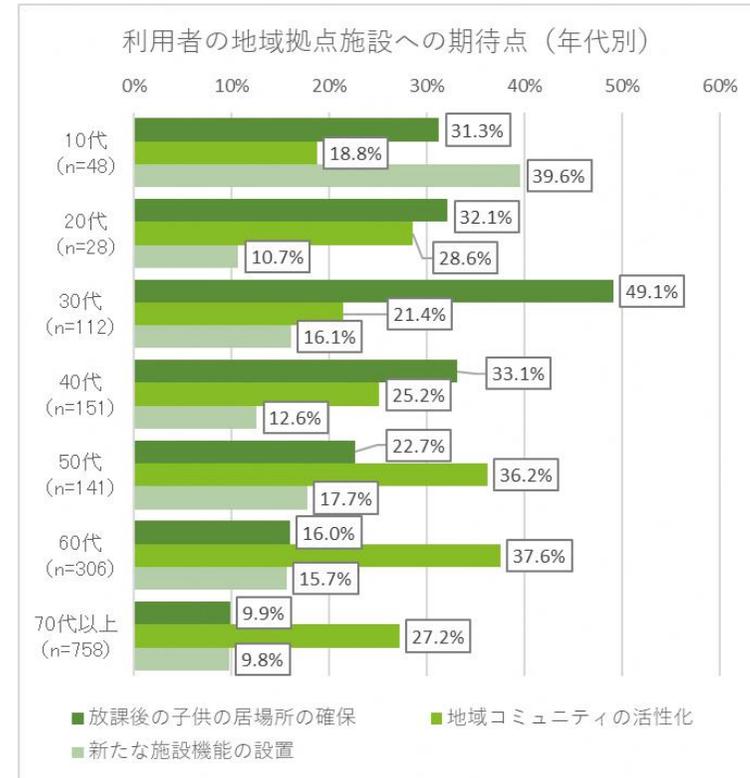
- 利用者アンケートでは地域拠点施設に期待することとして、「地域コミュニティの活性化」が高い
- 当初想定していた、「新たな施設機能の設置」を希望する意見は比較的少なかった



※複数回答は3つまで可

地域拠点施設に期待すること(利用者:年代別)

- 年代別に上位3項目をみると、「放課後の子どもの居場所の確保」は30代の49.1%をピークに、10～40代で多い
- 「地域コミュニティの活性化」は60代の37.6%をピークに、50代以上で特に多くなっている



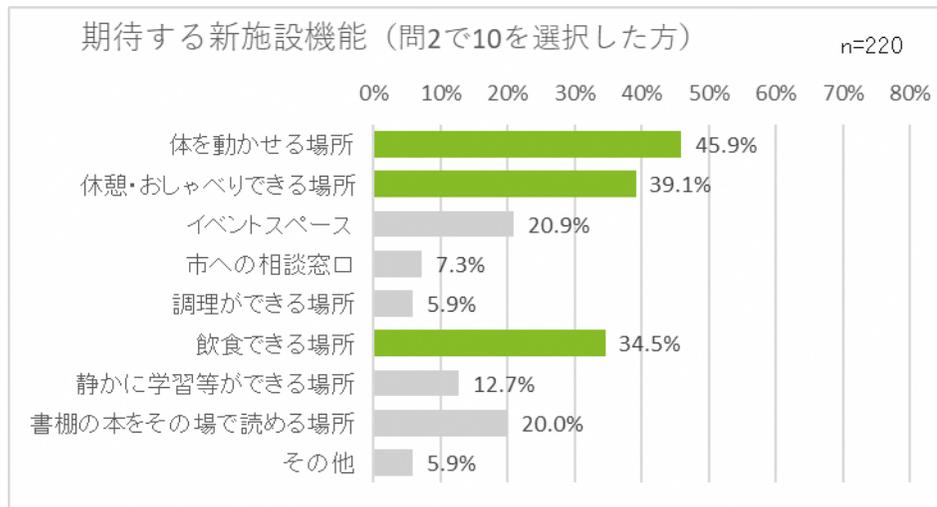
※複数回答は3つまで可

## 「新たな施設機能の設置」を希望する人が望む機能は、「体を動かせる場所」「休憩・おしゃべりできる場所」が多くなっている

### (14).拠点施設化への期待機能 利用者アンケート

#### 期待する新施設機能(利用者)

- 利用者では、期待することで「新たな施設機能の設置」は高くないが、「体を動かせる場所」と「休憩・おしゃべりできる場所」を求めている



※複数回答可(3つまで)

### **3. 具体的なアンケート結果**

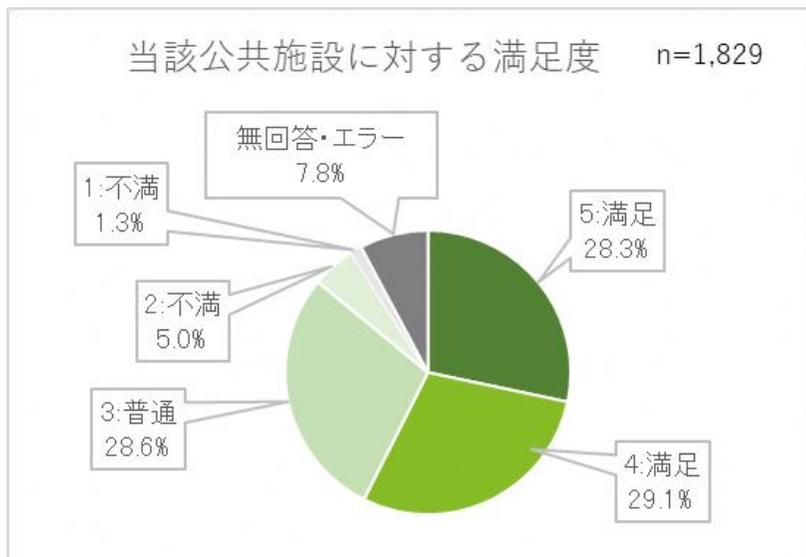
#### **3-4. 施設利用状況**

# 利用者は現状の「近くて」「職員の対応もよい」公共施設に概ね満足しており、不満のある人が少なくなっている

## (1). 公共施設の満足度・良い点 利用者アンケート

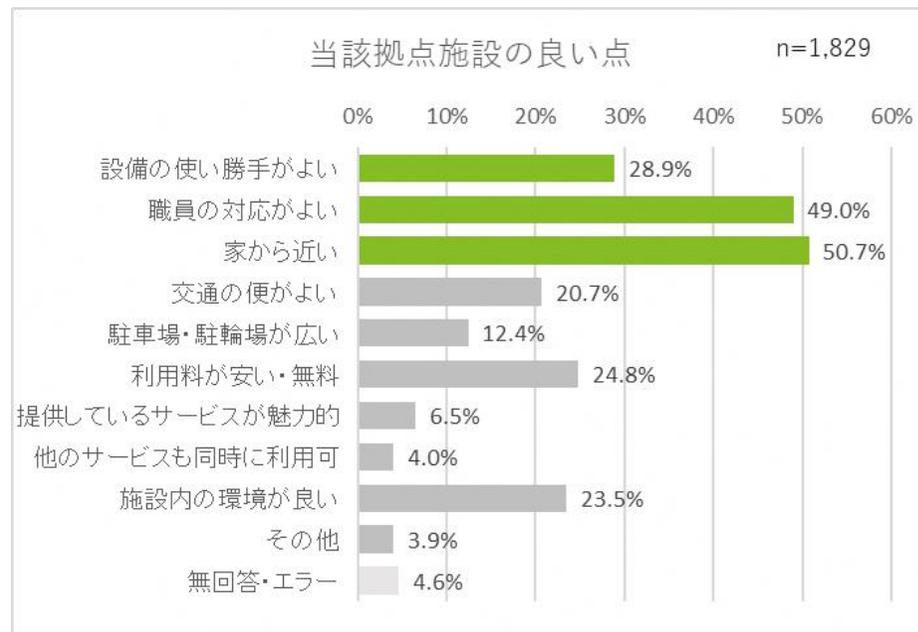
### 公共施設への満足度(利用者)

- 利用者アンケートでは、「公共施設への満足度」で満足が計57.4%と高く、加えて、不満が計6.3%と少ない。



### 当該公共施設の良い点(利用者)

- 公共施設の良い点は、「家から近い」「職員の対応がよい」がそれぞれ50%前後で高くなっている

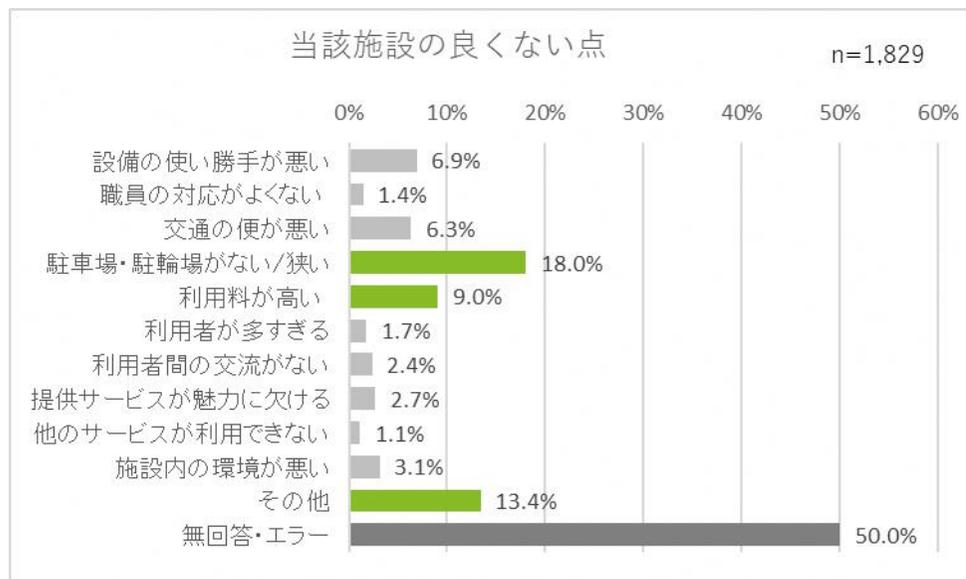


## 現在の公共施設への不満点は少ないが、その中では「駐車場・駐輪場がない／狭い」が比較的多くなっている

### (2). 公共施設の良くない点 利用者アンケート

——— 当該公共施設の良くない点（利用者） ———

- 現状の施設へのよくない点は、「無回答・エラー」が半数を占め、比較的不満が少ないことがうかがえる
- その中で、「駐車場・駐輪場がない／狭い」が比較的多くなっている



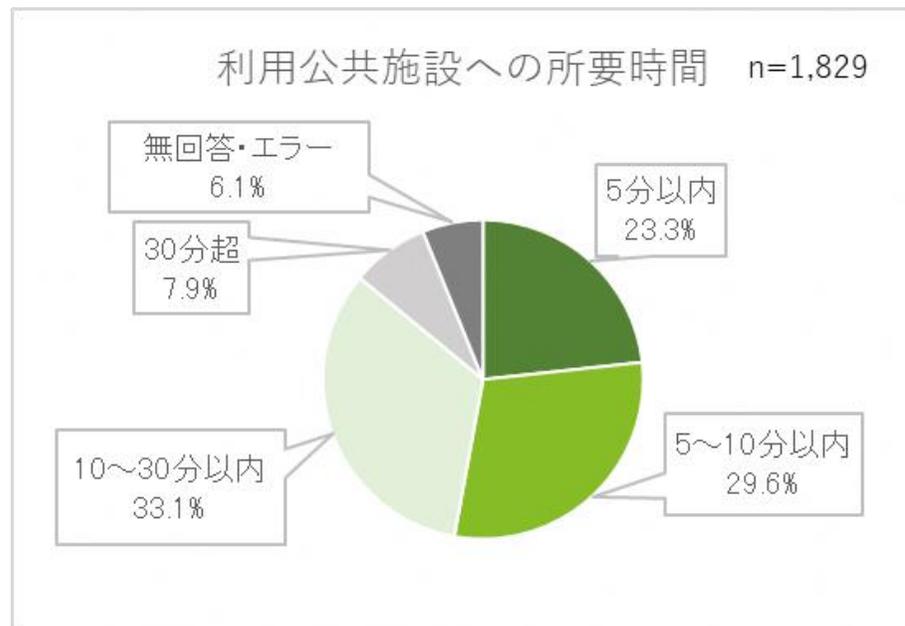
※複数回答可

# 公共施設は、家などから自転車や徒歩で所要時間10分以内に利用できるところに行くことが多い

## (3). 公共施設へのアクセス 利用者アンケート

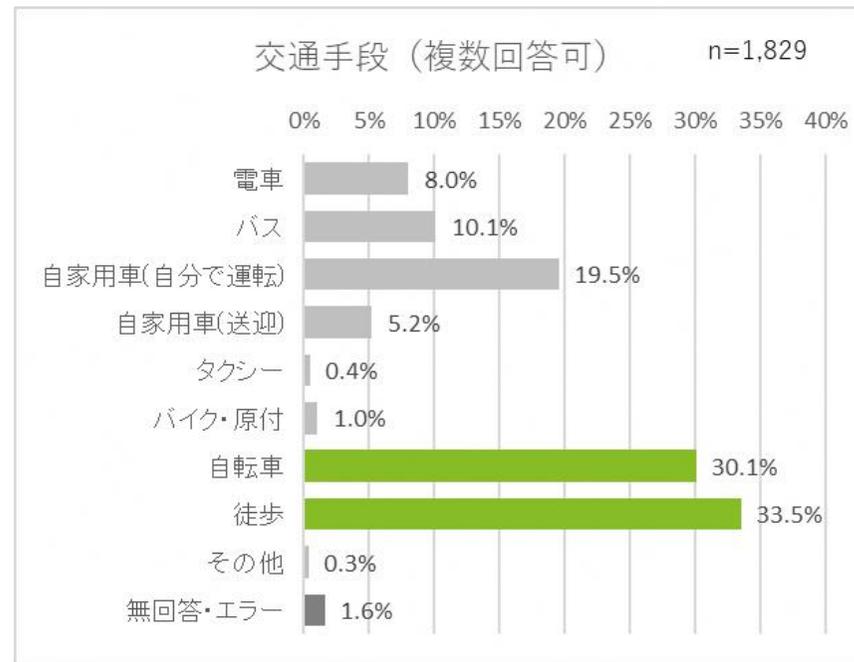
### 公共施設への所要時間(利用者)

- 家からの近さについては、公共施設への所要時間で、「10分以内」が52.9%と半数以上であり、この利便性の高さが、公共施設利用の大きな理由になっていると考えられる



### 公共施設への交通手段(利用者)

- また、公共施設への交通手段においても「徒歩」が33.5%で最も多い



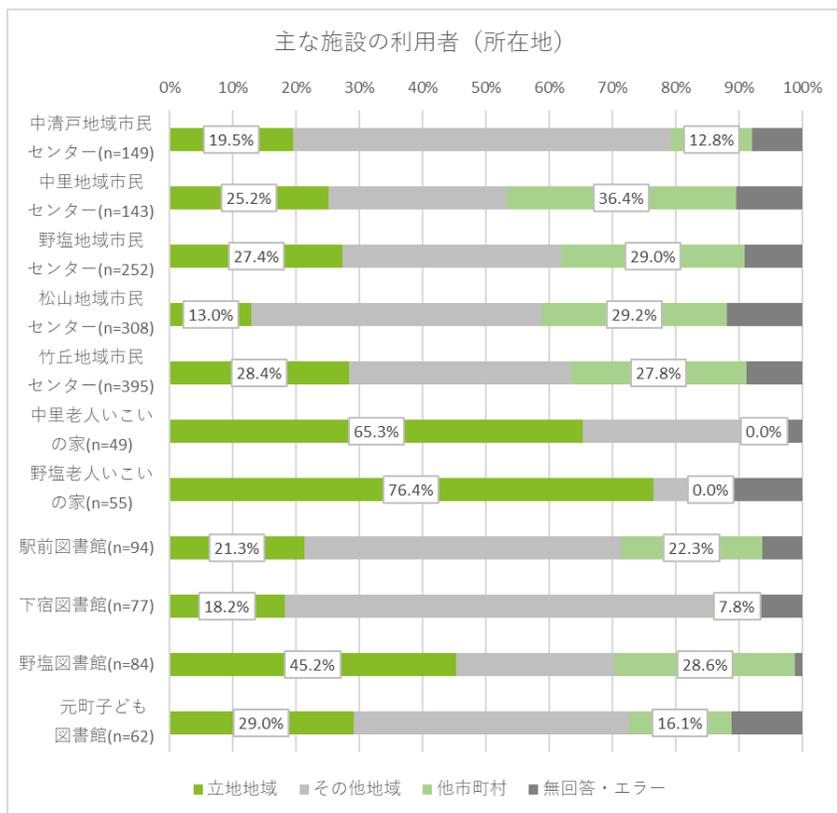
※複数回答可

# 公共施設によって、地域の住民が中心となって利用する施設、広い地域から利用される施設、他市町村からの利用者が多い施設などの利用者の特徴がある

## (4). 公共施設の利用者所在 利用者アンケート

### ——— 主な施設の立地地域利用者の割合(利用者) ———

- 老人いこいの家や野塩図書館では、地域住民が中心となって利用している  
(回答者数が概ね50件以上のものを集計)

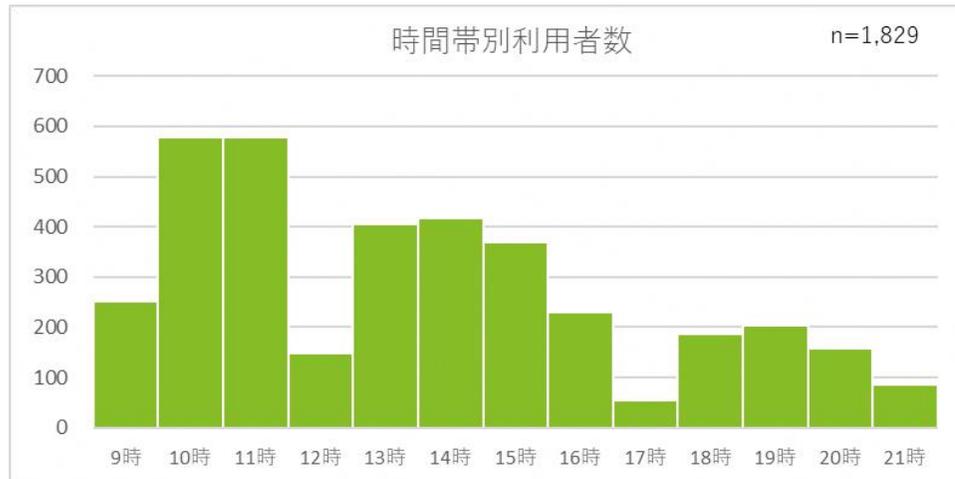


## 公共施設の利用は、曜日では金曜や水曜日、時間帯では午前中の利用が最も多くなっている

### (5).公共施設の利用日時 利用者アンケート

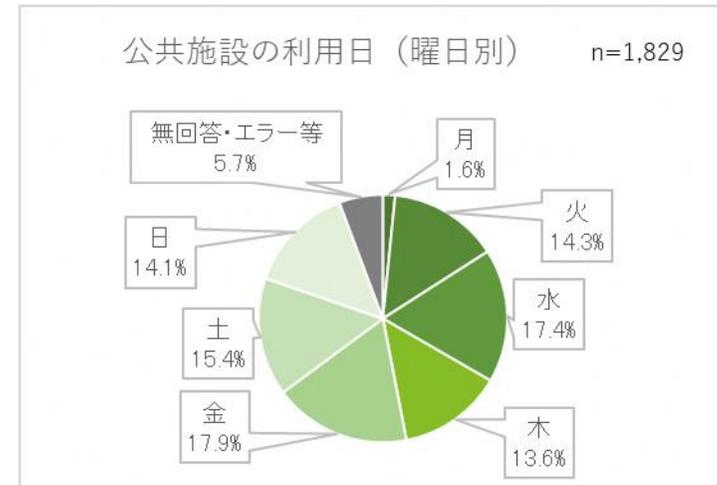
#### 公共施設の利用時間帯(利用者)

- 公共施設の利用は、午前中(10~12時)の利用が最も多く、次いで午後(13~16時)の利用が多い



#### 公共施設の利用日(利用者)

- 公共施設の稼働では、曜日別には休館日が多い月曜の利用が低い、他の曜日はまんべんなく利用されている

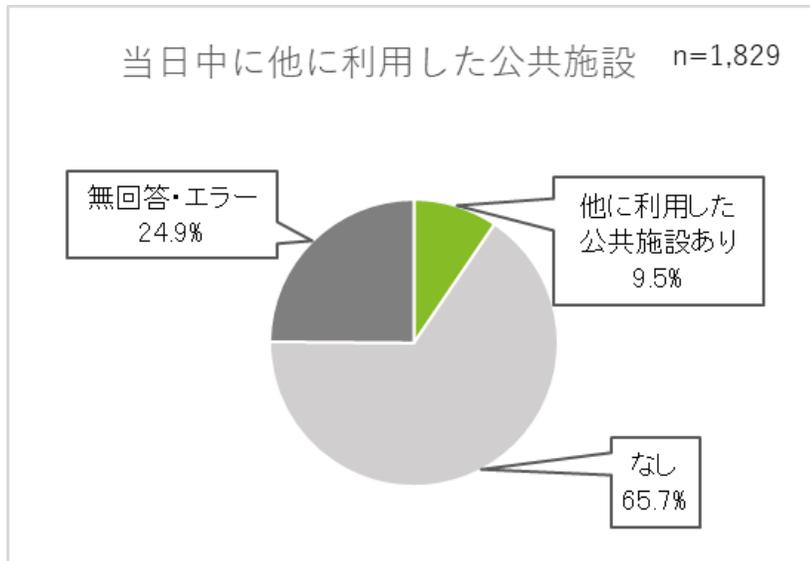


## 1日に複数の公共施設を利用する人は、利用者の約9%であり、対象は他の地域市民センターや図書館が多くなっている

### (6). 複数公共施設の利用 利用者アンケート

#### 複数公共施設の利用

- 当日に、複数の公共施設を利用した利用者は、全体の9.5%に当たる173人であった
- 他に利用した施設は、地域市民センターや図書館が多くなっている



他施設※原文のまま	回答件数	割合
市民センター	32	18.5%
図書館	30	17.3%
けやきホール	12	6.9%
公園・運動施設	11	6.4%
生涯学習センター・アミュー	11	6.4%
コミュニティプラザひまわり	9	5.2%
つどいの広場	8	4.6%
ころぼっくる	5	2.9%
市外公共施設	5	2.9%
健康センター	4	2.3%
老人いこいの家	3	1.7%
老人会	2	1.2%
児童館	2	1.2%
出張所	1	0.6%
詳細不明・その他	27	15.6%
エラー・無回答	11	6.4%
総計	173	100.0%

### **3. 具体的なアンケート結果**

#### **3-5. 主な施設※の利用者アンケート結果**

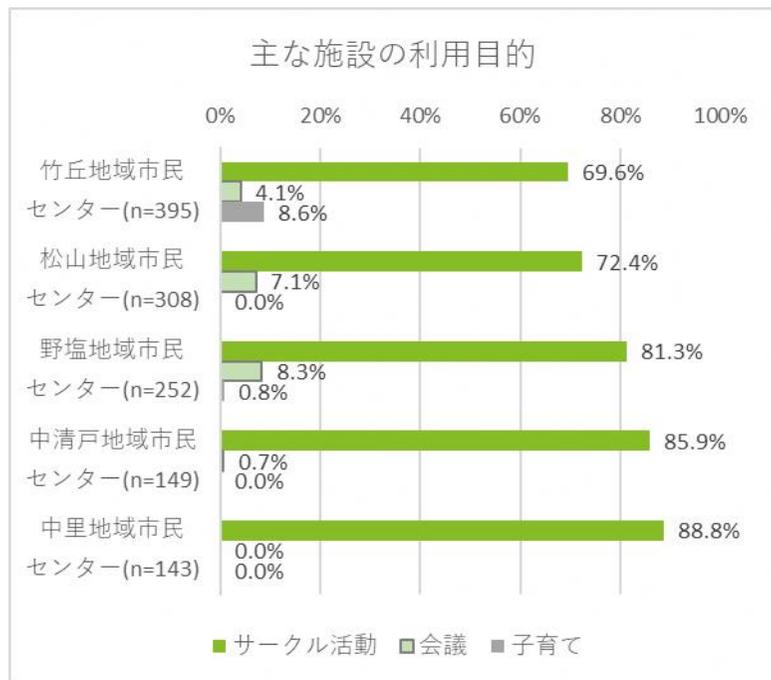
※利用者アンケートの回答数が100件以上の施設を対象としています。

# 回答数の多い5つの公共施設(全て地域市民センター)について、主な設問の回答結果を施設別に比較した

## (1).利用目的・交通手段 施設別の利用者アンケート

### 施設別の利用目的

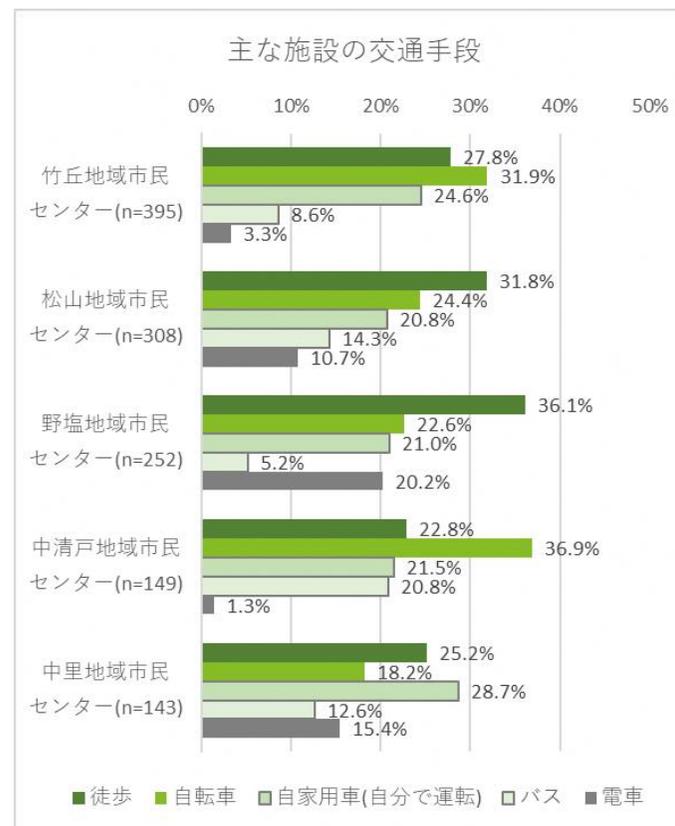
- 地域市民センターの利用目的は、「サークル活動」が大半であるが、その割合は中里市民センターの88.8%から竹丘市民センターの69.6%まで幅がある



※複数回答可

### 施設別の交通手段

- 交通手段で最も多いものは、松山市民センターと野塩市民センターで徒歩、竹丘市民センターと中清戸市民センターでは自転車、中里市民センターで自家用車(自分で運転)となっている



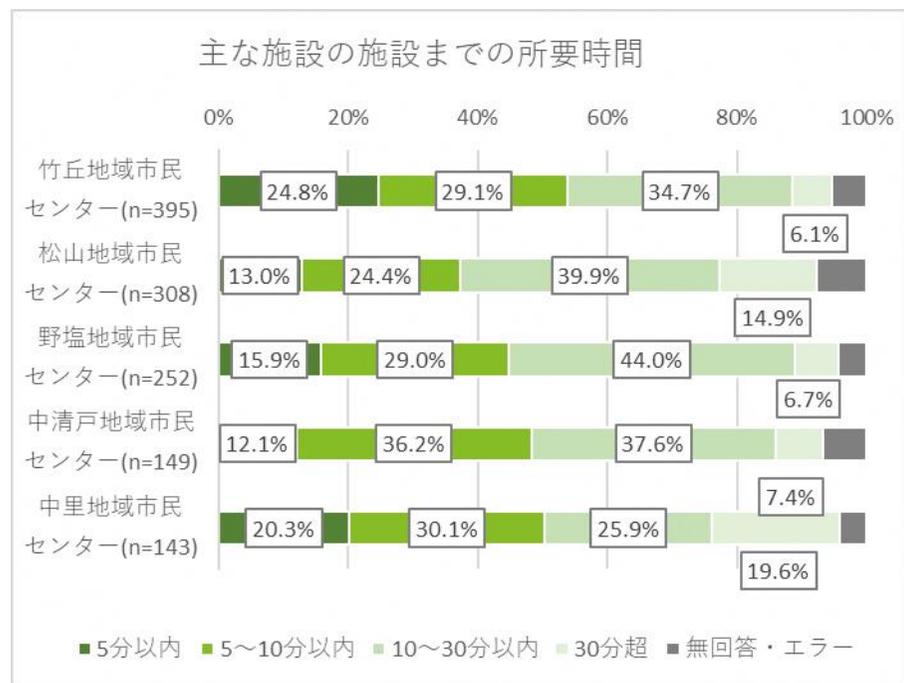
※複数回答可

# 回答数の多い5つの公共施設(全て地域市民センター)について、主な設問の回答結果を施設別に比較した

## (2).所要時間・満足度 施設別の利用者アンケート

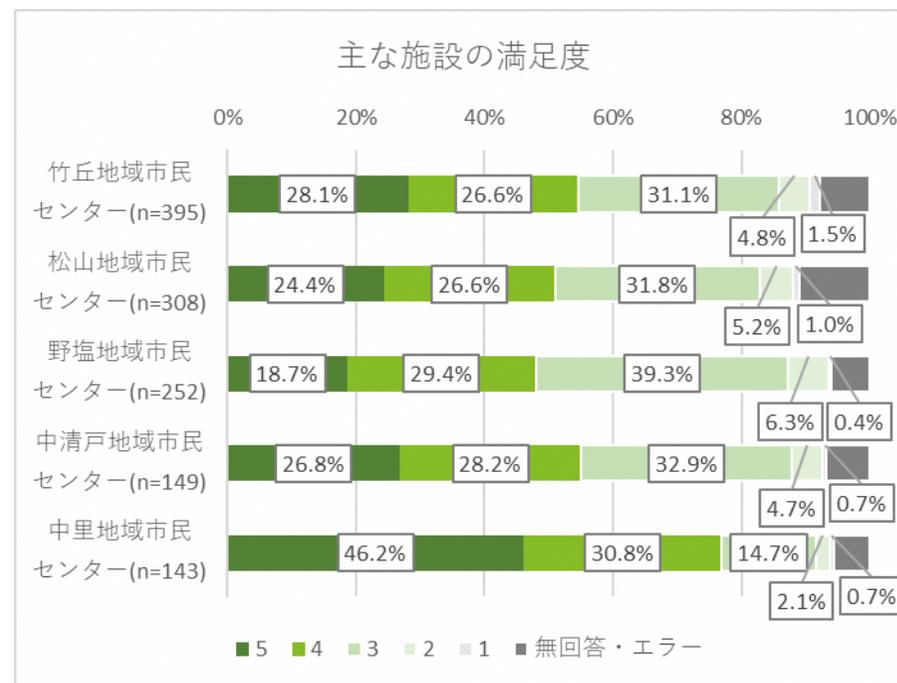
### 施設別の所要時間

- 施設への所要時間では、10分以内の割合が最も高いのは、竹丘市民センターであり、最も低いのは松山市民センターとなっている



### 施設別の満足度

- 満足度が一番高い施設は、中里市民センターで77.0%の利用者が満足していると回答している

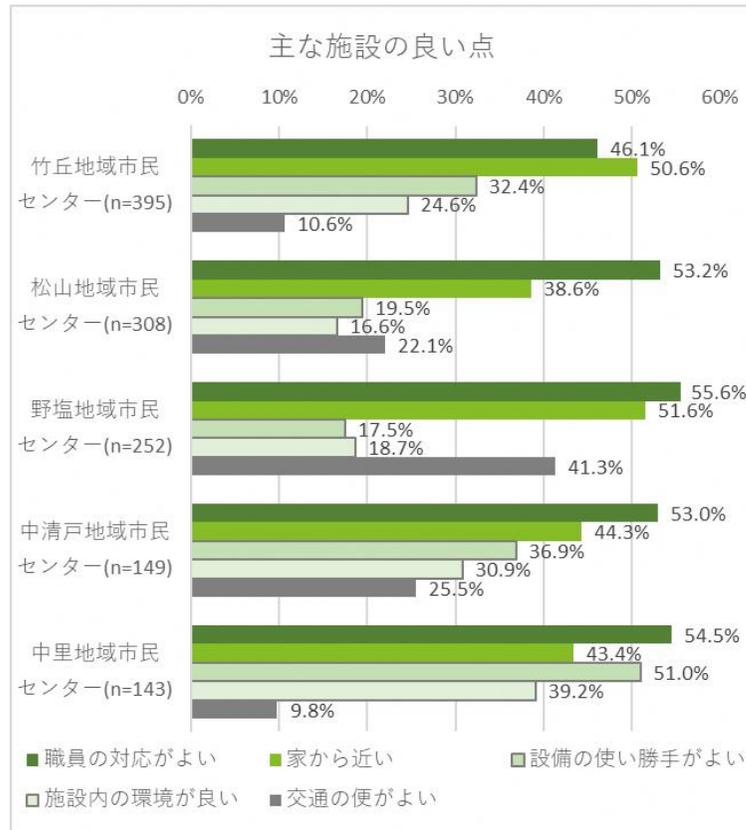


# 回答数の多い5つの公共施設(全て地域市民センター)について、主な設問の回答結果を施設別に比較した

## (3). 良い点・良くない点 施設別の利用者アンケート

施設別の良い点

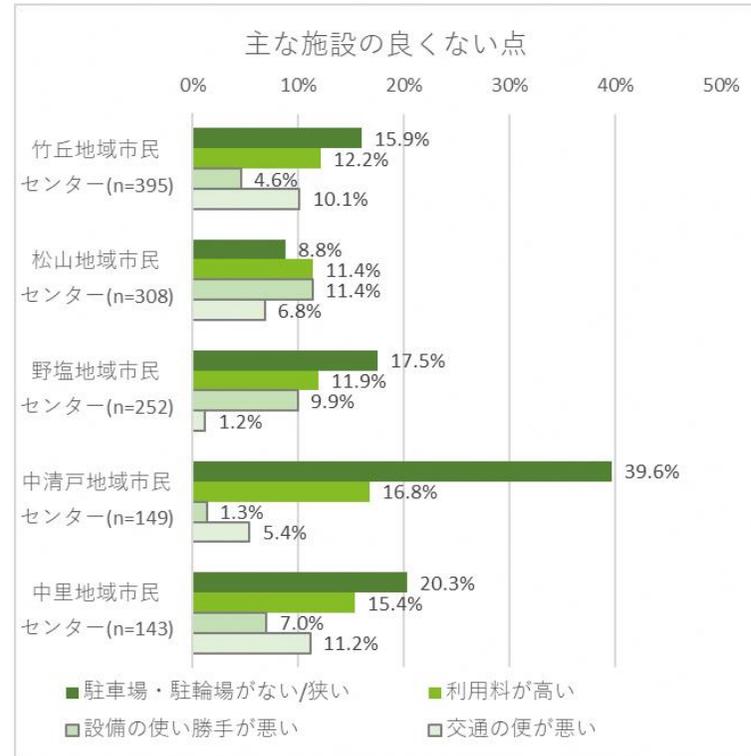
- 公共施設の良い点は、「職員の対応がよい」が最も多い施設が多いが、竹丘市民センターのみ「家から近い」が最も多くなっている



※複数回答可

施設別の良くない点

- 公共施設の良くない点は、「駐車場・駐輪場がない/狭い」が最も多い施設が多く、特に中清戸市民センターで39.6%と高い
- 松山市民センターのみ、「利用料が高い」と「設備の使い勝手が悪い」が最も多くなっている



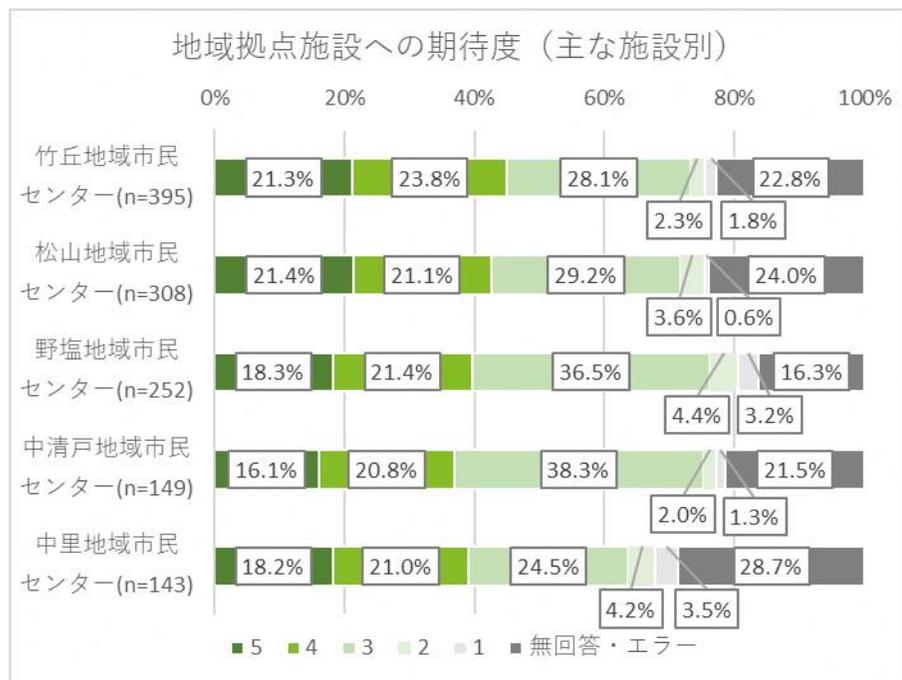
※複数回答可

# 回答数の多い5つの公共施設(全て地域市民センター)について、主な設問の回答結果を施設別に比較した

## (4).期待度 施設別の利用者アンケート

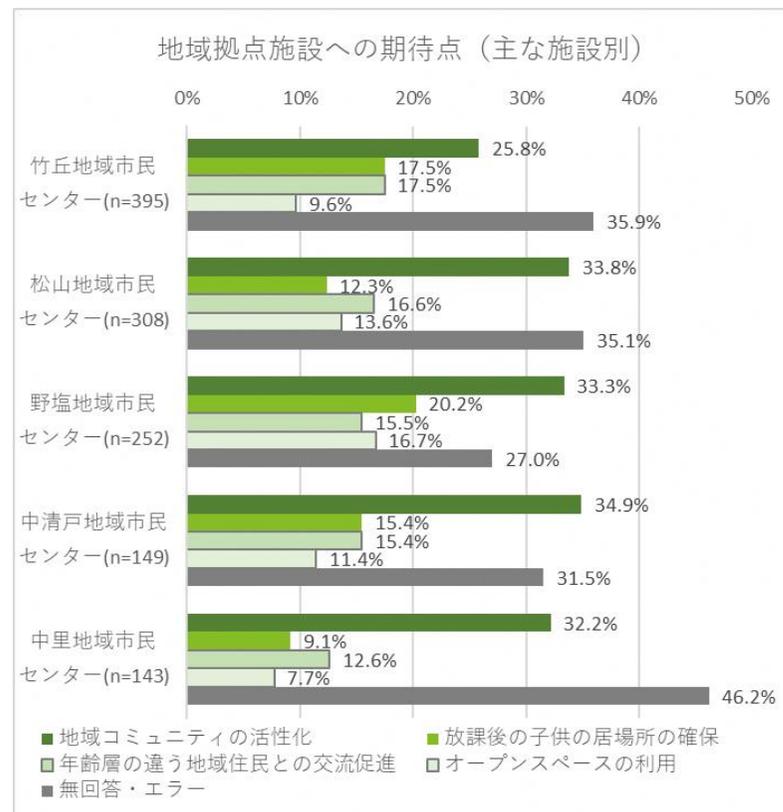
### 施設別の地域拠点施設に対する期待度

- 地域拠点施設に対する期待度は、期待する(選択肢4・5)が竹丘市民センターが45.1%で高く、中清戸市民センターが36.9%と低くなっている



### 施設別の地域拠点施設への期待点

- 地域拠点施設に期待する点は、どの施設でも「地域コミュニティの活性化」が最も多くなっている



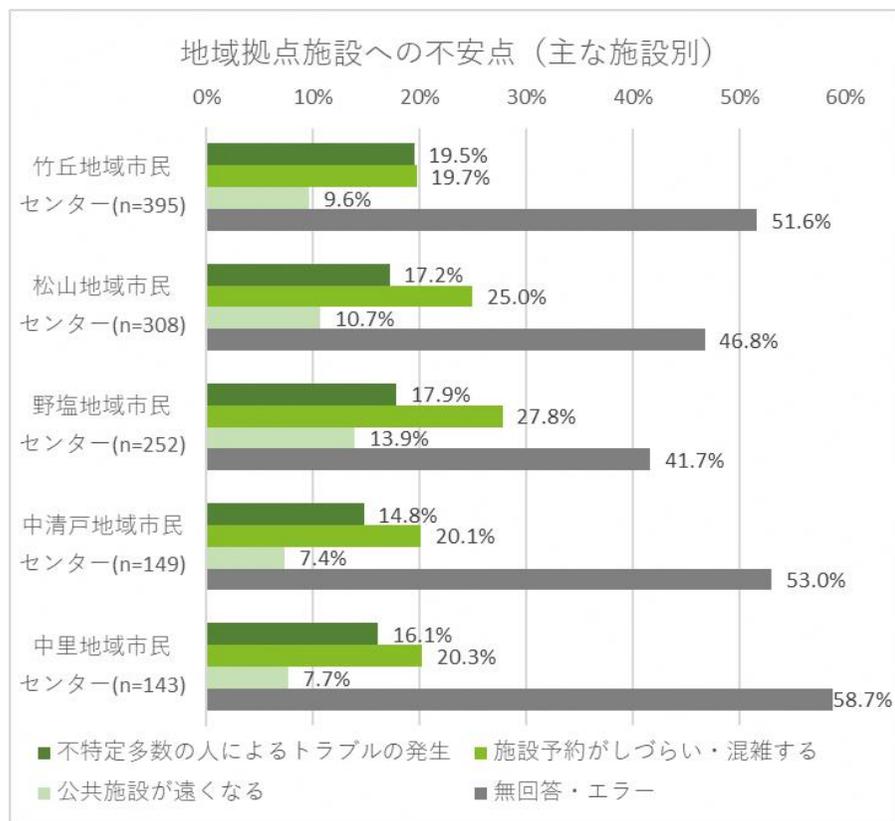
※3つまで複数回答可

## 回答数の多い5つの公共施設(全て地域市民センター)について、主な設問の回答結果を施設別に比較した

### (5).不安点 施設別の利用者アンケート

#### 施設別の地域拠点施設への不安点

- 地域拠点施設への不安点は、全体結果と異なり、どの施設でも「施設予約がしづらい・混雑する」が最も多くなっている



※複数回答可

**(参考). アンケート用紙**

## 身近な公共施設の再編に関する市民ニーズ調査のお願い

日頃より、清瀬市政にご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

清瀬市では、高度経済成長期に建設された公共施設が老朽化する一方、厳しい財政状況を踏まえるとすべての公共施設を建替えられないという課題を抱えています。そのため、市では、公共施設を再編し効率的な建替え・運営を目指すとともに、行政サービスの維持・向上を図っていかうと考えています。

この検討にあたっては、利用者のみならず市民のみならずのご意見や想いを十分にお聞きすることが必要だと考えています。

つきましては、本市における今後の公共施設に対するアンケートにご回答いただけますと幸いです。ご多用の中、誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨にご理解頂き、ご協力くださいますよう、何卒よろしくお願いたします。

令和元年9月

清瀬市長 渋谷 金太郎

### ◆ ◆ ◆ご記入方法について◆ ◆ ◆

- 調査票にご回答いただく前に、必ず、下記の「身近な公共施設の再編のイメージ例」をご覧ください。
- 本アンケートは、清瀬市内在住の18歳以上のみなさまから、2,000人を無作為で選ばせていただきご協力をお願いしています。
- 本アンケートは全部で9問あり、10分程度でご回答いただけます。
- 調査票に直接ご回答いただき、同封の返信用封筒に入れ、**10月7日(月)まで**にご投函ください。
- 右のQRコードから、メールフォームでもご回答いただけます。
- 調査についてのご質問などありましたら下記までお問合せください。

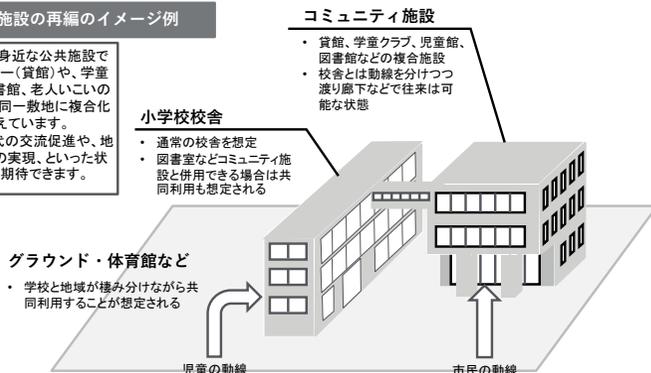


清瀬市企画部企画課企画調整担当

電話：042-497-1802

### 身近な公共施設の再編のイメージ例

市民のみならず身近な公共施設である地域市民センター(貸館)や、学童クラブ、児童館、図書館、老人いこいの家などは、小学校と同一敷地に複合化することを基本と考えています。  
これにより、多世代の交流促進や、地域に身近な小学校の実現、といった状況を生み出すことが期待できます。

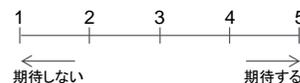


※上記の図は、あくまでイメージの一例であり、決定したものではありません。

## 身近な公共施設の再編に関する市民ニーズ調査 調査票

1. 前頁に示す小学校とコミュニティ施設が複合化した「(仮称)地域の拠点施設」について

問 1. (仮称)地域の拠点施設に対する期待度を5段階で教えてください。



問 2. (仮称)地域の拠点施設に対して、あなたはどんなことを期待しますか。(3つまで選択可)

- 学校と地域の連携強化
- 放課後の子供の居場所の確保
- 地域コミュニティの活性化
- 年齢層の違う地域住民との交流促進
- 他世代の人を思いやる心が育まれる
- 子供の成長を見守るなどの多世代共生が進む
- オープンスペースの利用
- 複数の施設の同時利用
- 小学校施設(プール、校庭、調理室、音楽室等)の共同利用
- 新たな施設機能の設置
- その他 \_\_\_\_\_

問 2-②. (10.を選択した場合)どういった場が新設されると使いますか?(3つまで選択可)

- 体を動かせる場所
- 休憩・おしゃべりできる場所
- イベントスペース
- 市への相談窓口
- 調理ができる場所
- 飲食できる場所
- 静かに学習等ができる場所
- 書棚の本をその場で自由に読める場所
- その他 \_\_\_\_\_

問 3. (仮称)地域の拠点施設に対して、あなたはどんなことが不安ですか?(複数回答可)

- 不特定多数の人が集まることによるトラブルの発生
- 他世代に気を遣ってしまう
- 子供と高齢者等が関係する怪我や事故の発生
- 賑やかになりすぎる(静かな環境がない)
- 施設予約がづらい・混雑する
- 建てた施設が十分活用されない
- 公共施設が遠くなる
- 学校に入りづらい
- その他 \_\_\_\_\_

2. 公共施設の再編に関する市民のみならずの合意形成について

清瀬市では、来年度に市民のみならずの身近な公共施設について、具体的な再編案をお示ししながらご意見を伺いたいと考えています。

そして、いただいたご意見を踏まえて再編案を修正し、その修正案をお示しし、またご意見を伺い修正するという行程を繰り返すことで、市民のみならずと再編案を作っていきたいと考えています。

このことについて、みなさまのご意見をお教えてください。

問 4. 公共施設の再編案の検討手法は、どのようなものが適切だと考えますか?(1つに○)

- 住民意見を取り入れて市が作成した案を、地域ごとの意見交換会で住民に直接提案し、意見を募り案に反映する方法
- 住民意見を取り入れて市が作成した案について、有識者や公募委員からなる検討委員会で検討し、意見を反映する方法
- 市が作成した案を、広報やホームページで公表し、意見を募り案に反映する方法
- その他 \_\_\_\_\_

**問 5. 問 4 の選択肢 1 のような意見交換会が開催された場合、出席したいと思えますか？(1 つに○)**

1. ぜひ出席したい                      2. 少し出席してみたい  
3. あまり出席したくない              4. 全く出席したくない

**問 5-②. (「1」又は「2」を選択した場合)会に参加できそうな時間帯はいつですか？**

- (1) 平日                      1. 参加できる \_\_\_\_\_ 時頃～\_\_\_\_\_ 時頃                      2. 参加できない  
(2) 土曜日                      1. 参加できる \_\_\_\_\_ 時頃～\_\_\_\_\_ 時頃                      2. 参加できない  
(3) 日曜・祝日                      1. 参加できる \_\_\_\_\_ 時頃～\_\_\_\_\_ 時頃                      2. 参加できない

清瀬市では、これまでも意見交換会や説明会など市民のみなさまのご意見をいただく場を開催してきました。しかし、残念ながらこのような場にご参加いただける市民はそれほど多くありませんでした。その理由の一つに、このような場の開催情報が市民のみなさままで届いていないことが考えられます。このことについて、みなさまのご状況をお教えてください。

**問 6. 普段は、市政情報などをどのような媒体で得ていますか？(複数回答可)**

1. 広報    2. 市のHP                      3. 市以外のHP                      4. 市の SNS<sup>\*1</sup>                      5. 閲覧板  
6. 市のポスター・チラシ    7. 市のメルマガ<sup>\*2</sup>    8. テレビ・ラジオ    9. 友人・知人の口コミ  
10. 職場・学校からの案内    11. 市の情報は入手していない    12. その他\_\_\_\_\_

※1 SNS とはソーシャルネットワークサービスの略で、利用者同士が交流できるLINE、Facebook、Twitter 等が該当する

※2 市のメルマガとは、「清瀬市メール一斉配信サービス」が該当する

**3. 身近な公共施設の利用状況****問 7. 下記に示す身近な公共施設について、過去 1 年間の利用頻度をお教えてください(1 つに○)**

(1) 下宿地域市民センター	1. 週 1 回以上 4. 半年に 1 回程度	2. 半月に 1 回程度 5. 年 1 回程度	3. 月 1 回程度 6. 1 度も利用していない
(2) 中清戸地域市民センター	1. 週 1 回以上 4. 半年に 1 回程度	2. 半月に 1 回程度 5. 年 1 回程度	3. 月 1 回程度 6. 1 度も利用していない
(3) 中里地域市民センター	1. 週 1 回以上 4. 半年に 1 回程度	2. 半月に 1 回程度 5. 年 1 回程度	3. 月 1 回程度 6. 1 度も利用していない
(4) 野塩地域市民センター	1. 週 1 回以上 4. 半年に 1 回程度	2. 半月に 1 回程度 5. 年 1 回程度	3. 月 1 回程度 6. 1 度も利用していない
(5) 松山地域市民センター	1. 週 1 回以上 4. 半年に 1 回程度	2. 半月に 1 回程度 5. 年 1 回程度	3. 月 1 回程度 6. 1 度も利用していない
(6) 竹丘地域市民センター	1. 週 1 回以上 4. 半年に 1 回程度	2. 半月に 1 回程度 5. 年 1 回程度	3. 月 1 回程度 6. 1 度も利用していない

(7) 集会所 (松山、竹丘)	1. 週 1 回以上 4. 半年に 1 回程度	2. 半月に 1 回程度 5. 年 1 回程度	3. 月 1 回程度 6. 1 度も利用していない
(8) 野塩出張所	1. 週 1 回以上 4. 半年に 1 回程度	2. 半月に 1 回程度 5. 年 1 回程度	3. 月 1 回程度 6. 1 度も利用していない
(9) 松山出張所	1. 週 1 回以上 4. 半年に 1 回程度	2. 半月に 1 回程度 5. 年 1 回程度	3. 月 1 回程度 6. 1 度も利用していない
(10) 老人いこいの家	1. 週 1 回以上 4. 半年に 1 回程度	2. 半月に 1 回程度 5. 年 1 回程度	3. 月 1 回程度 6. 1 度も利用していない
(11) 中央児童館	1. 週 1 回以上 4. 半年に 1 回程度	2. 半月に 1 回程度 5. 年 1 回程度	3. 月 1 回程度 6. 1 度も利用していない
(12) 野塩児童館	1. 週 1 回以上 4. 半年に 1 回程度	2. 半月に 1 回程度 5. 年 1 回程度	3. 月 1 回程度 6. 1 度も利用していない
(13) 下宿児童館	1. 週 1 回以上 4. 半年に 1 回程度	2. 半月に 1 回程度 5. 年 1 回程度	3. 月 1 回程度 6. 1 度も利用していない
(14) 図書館 (中央、下宿、野塩等)	1. 週 1 回以上 4. 半年に 1 回程度	2. 半月に 1 回程度 5. 年 1 回程度	3. 月 1 回程度 6. 1 度も利用していない

**問 8. 地域市民センターはどのような目的で利用されていますか？(複数回答可)**

1. サークル活動 (具体的な活動内容: \_\_\_\_\_)  
2. 地域の会合                      3. 市の会議や説明会など                      4. 集いの広場  
5. 利用していない                      6. その他\_\_\_\_\_

**問 8-②. (「1」を選択した場合)サークル活動は何で知りましたか？(複数回答可)**

1. 市の広報                      2. 地域市民センターで実際に活動を見て                      3. 友人・知人の紹介  
4. ポスター・チラシ    5. その他\_\_\_\_\_

**4. あなたご自身について****問 9. あなたご自身についてお教えてください。(1 つに○、または、下線部に数値を記載)**

- (1) 性別    1. 男性                      2. 女性                      3. その他  
(2) 年齢    \_\_\_\_\_ 歳  
(3) 居住地    1. 上清戸    2. 元町    3. 中清戸    4. 下清戸    5. 下宿    6. 旭が丘  
                    7. 中里    8. 野塩    9. 松山    10. 竹丘    11. 梅園

施設名：XXXX

## 清瀬市 地域レベルの公共施設に関する利用者アンケート 調査票

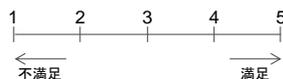
## 1. 上記に記載している公共施設の本日のご利用について

## 問 1. 本日のご利用についてお教えてください。(下線部に数値・施設名、選択肢は複数回答可)

- (1) 利用日時 \_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日 \_\_\_\_\_:\_\_\_\_~\_\_\_\_:\_\_\_\_
- (2) 利用目的 1. サークル活動 2. 地域の会合 3. 会議 4. 図書閲覧  
5. 図書の貸出・返却 6. 勉強 7. 子育て 8. 放課後の遊び  
9. その他 \_\_\_\_\_
- (3) 交通手段 1. 電車 2. バス 3. 自家用車(自分で運転) 4. 自家用車(送迎)  
5. タクシー 6. バイク・原付 7. 自転車 8. 徒歩 9. その他 \_\_\_\_\_
- (4) 所要時間 出発地(家・職場・学校等)から約\_\_\_\_\_分
- (5) 他に利用した施設 1. 本日、他に利用した公共施設がある 施設名: \_\_\_\_\_  
2. 本日、他に公共施設を使用していない
- (6) 利用頻度 当該施設の利用は、週\_\_\_\_\_回程度 または 月\_\_\_\_\_回程度

## 2. 上記に記載している公共施設について

## 問 2. 当該公共施設の満足度を5段階で教えてください。



## 問 3. 当該公共施設の良い点は何ですか?(複数回答可)

1. 設備の使い勝手がよい 2. 職員の対応がよい 3. 家から近い  
4. 交通の便がよい 5. 駐車場・駐輪場が広い 6. 利用料が安い・無料  
7. 提供しているサービス(講座等)が魅力的 8. 他のサービスも同時に利用できる  
9. 施設内の環境が良い(静か等) 10. その他 \_\_\_\_\_

## 問 4. 当該公共施設の良くない点は何ですか?(複数回答可)

1. 設備の使い勝手が悪い 2. 職員の対応がよくない 3. 交通の便が悪い  
4. 駐車場・駐輪場がない/狭い 5. 利用料が高い 6. 利用者が多すぎる  
7. 利用者間の交流がない 8. 提供しているサービス(講座等)が魅力に欠ける  
9. 他のサービスが利用できない 10. 施設内の環境が悪い(騒音等)  
11. その他 \_\_\_\_\_

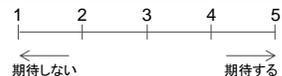
裏面に続きがあります

## 3. 地域拠点施設について

市では、小学校の建替えに合わせ、小学校と貸館・図書館・児童クラブ・児童館・老人いこいの家等を同一敷地内に複合化し、地域の拠点とすることで、行政サービス向上や公共施設運用の効率化、地域の交流促進等を図ることを検討しています。上記を踏まえ、下記をお答えください。



## 問 5. 上記の地域拠点施設に対する期待度を5段階で教えてください。



## 問 6. 上記の地域拠点施設に対して、あなたはどんなことを期待しますか。(3つまで選択可)

1. 学校と地域の連携強化 2. 放課後の子供の居場所の確保 3. 地域コミュニティの活性化  
4. 年齢層の違う地域住民との交流促進 5. 他世代の人を思いやる心が育まれる  
6. 子供の成長を見守るなどの多世代共生が進む 7. オープンスペースの利用  
8. 複数の施設の同時利用 9. 小学校施設(プール、校庭、調理室、音楽室等)の共同利用  
10. 新たな施設機能の設置 11. その他 \_\_\_\_\_

## 問 6-②. (10.を選択した場合) どういった場が新設されると使いますか?(3つまで選択可)

1. 体を動かせる場所 2. 休憩・おしゃべりできる場所 3. イベントスペース  
4. 市への相談窓口 5. 調理ができる場所 6. 飲食できる場所  
7. 静かに学習等ができる場所 8. 書棚の本をその場で自由に読める場所  
9. その他 \_\_\_\_\_

## 問 7. 上記の地域拠点施設に対して、あなたはどんなことが不安ですか?(複数回答可)

1. 不特定多数の人が集まることによるトラブルの発生 2. 他世代に気を遣ってしまう  
3. 子供と高齢者等が関係する怪我や事故の発生 4. 賑やかになりすぎる(静かな環境がない)  
5. 施設予約がしづらい・混雑する 6. 建てた施設が十分活用されていない  
7. 公共施設が遠くなる 8. 学校に入りづらい 9. その他 \_\_\_\_\_

## 4. あなたご自身について

## 問 8. あなたご自身についてお教えてください。

- (1) 性別 1. 男性 2. 女性 3. その他  
(2) 年齢 \_\_\_\_\_歳  
(3) 居住地 1. 上清戸 2. 元町 3. 中清戸 4. 下清戸 5. 下宿  
6. 旭が丘 7. 中里 8. 野塩 9. 松山 10. 竹丘  
11. 梅園 12. 清瀬市外 \_\_\_\_\_市・町・村

## 問 9. 普段あなたが市の情報に触れるのは、どのような媒体を通じてですか?(複数回答可)

1. 広報 2. 市のHP 3. 市以外のHP 4. 市のSNS<sup>※1</sup> 5. 回覧板  
6. 市のポスター・チラシ 7. 市のメルマガ<sup>※2</sup> 8. テレビ・ラジオ 9. 友人・知人の口コミ  
10. 職場・学校からの案内 11. 市の情報は入手していない 12. その他 \_\_\_\_\_

※1 SNSとはソーシャルネットワークサービスの略で、利用者同士が交流できるLINE、Facebook、Twitter等が該当する